

---

# 熱血！アニメゲームリーグ戦

阪神虎之介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

熱血！アニメゲームリーグ戦

### 【Nコード】

N6439Z

### 【作者名】

阪神虎之介

### 【あらすじ】

作者さん達のチームも参加するリーグ戦が幕を開ける！！

それぞれの作品から出てきたみんなが白球を追いかける！！

### 【登場作品】

・けいおん！・けいおん！！とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・スーパーマリオブラザーズ・ドンキーコング・ドラえ

もん・こちら葛飾区亀有公園前派出所・ポケットモンスター・ウル  
トラマンシリーズ・ウルトラマンゼロ・海賊戦隊ゴーカイジャー・  
けいおん！在校生編・けいおん！大学生編・ぷよぷよ・ポケットモ  
ンスター special ドラベース・バワプロくんポケットシリ  
ーズ・魔法少女リリカルなのは・プリキュアシリーズ・俺の妹がこ  
んな可愛いわけがない・（ボボボーボ・ボーボボ）

## チーム紹介（前書き）

開催の理由は「色々な作品との交流」と考えてもらってください。

後あまり考えずに野球だけ考えてください。

試合はプロ野球の試合を参考にしていきます。

## チーム紹介

### 【小説ウィテングス】

監督・阪神虎之介

作者さん達で集めたチーム。左腕のエースikkikiを筆頭にコンピユーター紀葉等個性的な選手が集まる。

### 【桜ヶ丘ティータム】

監督・山中さわ子

「けいおん！」のメンバーだけで集めたチーム。変則投法の平沢唯に恐怖の3番打者平沢憂の平沢姉妹を筆頭に投打共に充実している。

### 【学園都市ゴールデンガールズ】

監督・木山春生

「とある科学の超電磁砲」の女性キャラのチーム。

一番御坂、二番初春のコンビにエースで四番の佐天が機能すれば壊滅的な打線となるが弱点は打線重視のチームの為、一回押さえ込まれるとダメになる。

### 【マリオマリナーズ】

監督・マリオ

「マリオ」のチーム。

エースドンキーの球質の重さは論外。マリオルイージ兄弟のクリーンアップ次第で勝敗が左右される。

今はどうか知らないけど昔任天堂がシアトルマリナーズのスポンサーだった関係でチーム名が「マリナーズ」になった。

### 【ジャイアンズ】

監督・剛田武

ご存じ「ドラえもん」のチーム。

監督兼エース兼主砲の剛田武のワンマンチームかと思えば、天才出木杉、未来の猫型ロボットドラえもん等伏兵が多い。調子こいてると普通に負けます。

### 【インデックス】

監督・一方通行

「とある魔術の禁書目録」からのチーム。

能力の問題で一方通行が監督に回ったがフラグ建築士上条、タバコを吸う14歳ステイル、妹思いの主砲土御門のクリーンアップが特徴。

【ポケットモンスター】

監督・オーキド

「ポケットモンスター」のチーム。

【亀有ポリスマンズ】

監督・両津勘吉

「こちら葛飾区亀有公園前派出所」のチーム。

「両さん」のこと両津勘吉を筆頭に長年「ジャンプ」に連載された力を武器に戦う！

## チーム紹介（後書き）

開幕戦

「小説ウイテングスvs桜ヶ丘ティータム」



【小説ウイテングスvs桜ヶ丘ティータム】試合開始前

＼QVCマリンフィールド＼

幕張メッセの隣にある球場だ。

開門時間前から球場の周りには大勢のファンが詰めかけている。

＼球場内＼

「小説ウイテングス」の面子が試合前のミーティングを行っている。

阪神虎之介

「今回はお集まり頂きありがとうございます」

この作品の作者で一応監督をやる阪神虎之介。ポジションはどこでもやる予定。

阪神虎之介

「皆さんもそうですよ」

ikkiki

「そうですか…」

ikkikiさん。中日ファンである。左投げのアンダースローから繰り出されるシンカーが武器である。投手の為、中日の投手応援歌を使う。

セブンの独り言

「まあ俺はどこでもやれるけど」

セブンの独り言さん。

強肩強打の捕手。広島東洋カープの石原慶幸選手の応援歌を使う。

しら

「楽しみです！」

しらさん。守備も出来るし打撃も出来る。最高の打者である。千葉ロッテの根元の応援歌を使用。

scarlett

「やってやるうじゃん！」

scarlettさん。千葉ロッテファン。所謂マリサポである。急遽電話で作者に「やっぱり細谷に変えて」と言ってきたので千葉ロッテの細谷の応援歌使用。

紀葉

「初戦はけいおんですか」

紀葉さん。頭脳明晰な打撃を持っている。伝説的な守備も魅せる。福岡ソフトバンクの内川選手の応援歌使用。

ウルトラマンゼロ

「勝つぞ！」

ウルトラマンゼロさん。身体能力抜群のヒーローである。DREA

M F I G H T E Rを応援歌使用。

鷹峯

「やりますか」

鷹峯瑛さん。守備が上手く、常にヘッドスライティングの精神を持つ。東京ヤクルトの田中浩康の応援歌使用。

千歳涼介

「けいおん叩きますか!!」

千歳涼介さん。堅実な守備と打撃が持ち味だ。

双樹槇

「昨日は寝れませんでしたよ」

双樹槇さん。足が速く、トップバッターの理想である。千葉ロッテの岡田を応援歌使用。

阪神虎之介

「この日の為に千葉ロッテマリーンズ、阪神タイガース、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズ、福岡ソフトバンクホークスの応援団の方々が来てくれました」

s c a r l e t

「オオ」

i k k i

「洗脳応援か」

阪神虎之介

「では本日のスタメンを発表します」

? 双樹槇 (右)

? 鷹峯瑛 (左)

? 紀葉 (三)

? ウルトラマンゼロ (遊)

? しら (一)

? セブンの独り言 (捕)

? 千歳涼介 (中)

? scarlet (二)

? ikki (投)

阪神虎之介

「それでは初戦絶対勝つぞ!!!」

全員

「オオ!!!」

〈フィールド〉

「桜ヶ丘ティータイム」の選手が打撃練習を行っている。

ちょうど始まった時と開門の時間が被るのでファンが入ってきた。

山中さわ子

「来たわね……」

**【小説ウイテングスvs桜ヶ丘ティータイム】試合開始前（後書き）**

出ていない作者さんも試合中は絶対出しますので。

後活動報告の「始めました。」の所注意を見といてください。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（前書き）

スタメン発表は懲りました（笑）

作者さん呼び捨てなのは勘弁してください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表

（試合開始30分前）

アナウンス

「それでは両チームの監督によるスタメン交換です」

阪神虎之介

「はいはい」

山中さわ子

「じゃ行ってくるわ」

阪神虎之介と山中さわ子はホームベースに行く。

敷田

「今日の責任審判の敷田です」

阪神虎之介

「よろしくお願いします」

山中さわ子

「こちらこそ」



アナウンス

「お待たせしました。只今よりリーグ戦第1回戦小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイムのスターティングラインアップ及びアンパイアを発表致します。まず先攻の桜ヶ丘ティータイム、一番、シヨート、中野梓」

【パラララ〜】「そ〜れ、あ・ず・さ!~!」  
アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

【パラララ〜】「そ〜れ、み〜お!~!」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

【パラララ〜】「そ〜れ、う〜い!~!」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

【パラララ〜】「そ〜れ、り〜っ!~!」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

【パラララ〜】「そ〜れ、む〜ぎ!〜!」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

【パラララ〜】「そ〜れ、まなべ!〜!」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

【パラララ〜】「そ〜れ、じゅ〜ん!〜!」

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

【パラララ〜】「そ〜れ、奥田!〜!」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

【パラララ〜】「そ〜れ、ゆ〜い!〜!」

【パ〜ララララ〜、パ〜ララララ〜、パツパツパ、パツパツパ、パ  
〜パツパツパ〜】

応援団長

「そ〜れ!〜!」

【パパパパ〜パパパツパ〜パ〜パ〜パパパパ〜】「オ〜、ハイ!〜!」

【パパパパ〜パパパツパ〜パ〜パ〜パパパパ〜】「そ〜れ

ハイハイハイ!!」

アナウンス

「続きまして、後攻の小説ウイテングス!!一番、ライトオ双樹槇」

【ダダン】「ふ〜た〜き!」【ダダン】「ふ〜た〜き!」【ダダン】  
「ふ〜た〜き!」

アナウンス

「二番、レフトオ、鷹峯瑛!」

【ダダン】「鷹峯!」【ダダン】「鷹峯!」【ダダン】「鷹峯!」

アナウンス

「三番、サードオ、紀葉」

【ダダン】「のーりーは!」【ダダン】「のーりーは!」【ダダン】  
「のーりーは!」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ!」

【ダダンダン】「ゼロ!」【ダダンダン】「ゼロ!」【ダダンダン】  
「ゼロ!」

アナウンス

「五番、ファースト、しら!」

【ダダン】「しら」【ダダン】「しら」【ダダン】「しら」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言！」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介！」

【ダダン】「ち、と、せ！」【ダダン】「ち、と、せ！」【ダダン】  
「ち、と、せ！」

アナウンス

「八番、セカンド、scarlet！」

【ダダンダン】「scarlet！」【ダダンダン】「scarl  
et！」【ダダンダン】「scarlet！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikkii！」

【ダダッダン】「ikkii！」【ダダッダン】「ikkii！」【ダ  
ダッダン】「ikkii！」

【ピッピッピーピーピー！】「オ、ッ、ロツテー！」

阪神虎之介

「あ！応援団リードミスしやがった！」

アナウンス

「アンパイアは主審敷田、墨審、一墨村田、二墨二出川、三墨小寺、公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】スタメン発表（後書き）

桜ヶ丘ティータムには広島東洋カープの応援団と横浜ベイスターズの応援団が来てます。

小説ウイテングスのスタメン発表は千葉ロッテマリーンズのスタメン発表そのままです。

興味がありましたらYouTubeに投稿されているので

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表

試合開始直前に阪神虎之介が円陣を組む。

阪神虎之介

「それでは頑張ってください！後、風速12Mなのでお気をつけて  
（笑）」

ikki

「マジかよ!？」

QVCマリフィールドは海風の影響で風が強い時がある。過去に  
「強風による中止」があるほどだ。

今回はバックネット方向に12Mの風が吹く。

アナウンス

「それでは小説ウイテングスの選手が守備に着きます。」

応援

「ワ〜！」

ikki

（嫌だなぁ、マリんで風が強いのは）

「ikki!ikki!ikki!ikki!ikki!」

スタンドからikkikisanを応援するコールが聞こえる。

アナウンス

「一回の表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、シヨート、中野梓  
！」

桜ヶ丘ティータイムはアウェイなので入場曲は無しである。

応援

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あ  
ずさー！」

敷田主審

「プレイ！」

ikkiki

(最初どうします?)

セブンの独り言

(打ち上げるのは厳禁！低めにシンカーを)

ikkiki

(了解)

ikkikisanが振りかぶって投げる！

【ピシユー！】



中野梓

(ボール…)

敷田主審

「ストライク!」

中野梓

「え?」

セブンの独り言

「ナイピー!」

i k k i

「ふう」

セブンの独り言

(次も低めにシンカー…)

i k k i

(了解)

【ピシユ!】

中野梓

(これはストライク?)

【バシ!】

敷田主審

「ストライクツウ！」

中野梓

「ええ！」

平沢唯

「あ〜ずにゃ〜ん、バット振らなかったらアウトだよ〜」

真鍋和

「唯…」

平沢唯

「なに？」

真鍋和

「マトモな事言っわね…」

中野梓

（次は…）

セブンの独り言

（内角低めに直球）

i k k i

（OK）

【ピシュ！】

中野梓

（来た！）

【カキイン！】

セブンの独り言

「しまった！」

紀葉さんとウルトラマンゼロさんの間を…

ウルトラマンゼロ

「シュワ！」

中野梓

「ゲツ！」

しかしそのまま一塁送球するが…

【バシ！】

【ダン！！】

しら

「アウト！」

村田墨審

「セーフ」

中野梓

「にゃあ〜」

奥深った為、内野安打に…

i k k i

「クッソ…」

アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

応援

「決めろ！決めろ！澪！決めろ！決めろ！澪！」

「決めろ！」とは送りバントの事である。

実際秋山澪はバントの構えだ。

紀葉

（前進、前進）

しら

（内野は全員前進してるな…）

i k k i

（高めに投げたい）

セブンの独り言

（高めに…）

i k k i

(よしきた)

【ピシュ！】

【カキイン！】

ikki

「あ！」

まさかの秋山、バスターで打つ。

しかしボールに力無く、セカンドscarletのフライ…

scarlet

「え？え？」

ikki

「はあ」

しら

「うそお！」

一塁の方向に来て1、2塁間にポトリ

その隙に一塁ランナーは三塁へ

いきなり無死1、3塁のピンチ！

セブンの独り言

「今のがマリンの恐怖…」

しら

「12Mって凄いですね」

紀葉

「憂でゲッツに取りましよう!」

ikkiki

「ああ、この際1点はあげるわ」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

セブンの独り言

(…しかし高めだと風でどうなるか分からないし低めは読んでるだらうな…)

ikkiki

(様子見を)

セブンの独り言

(様子見るかあ)

【ピシユ!】

敷田主審

「ボール!」

ikk i

(それで内角にシンカー…)

セブンの独り言

(外角にシンカーを)

ikk i

(いや内角に)

ikk iさんが顔を横に振る。

セブンの独り言

(じゃあ内角?)

ikk i

(そうそう!)

ちなみに平沢憂は

平沢憂

(ikk iさんのさっきの振りはセブンさんが内角要求したのを外角にしてくれて頼んだんだわ)

ikk i

(ほい!)

【ピシュ!】

平沢憂

「しまった!」

ついバットが出てしまう。

【カアキン！】

フライだ！

i k k i

「キャッチャー！」

セブンの独り言

「オーライ！」

しかし打球は…

フェアゾーンからファウルゾーンへ…

セブンの独り言

「とっ」とっ…あー！」

セブンの独り言さんが足を滑らし、転倒しかけ打球が

敷田主審

「アウト！」

セブンの独り言

「え？」



紀葉

「間に合った…」

三塁から全速力で走ってきた紀葉さんがスライディングキャッチを決めた！

ライトスタンド（小説側）

「オ〜！」

平沢憂

「凄い…」

平沢憂も感服するしかない。

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

すると今まで流れていた。「広島東洋カープチャンステーマ？」から元千葉ロッテマリーンズの西岡剛選手の2009年までの応援歌「カチューシャ」に変わった。

応援「オ〜オ〜オ〜オ〜オ〜オ、オ〜オ〜オ〜オオオ…」

ik ki

（むしろ…律より憂の方が怖かったw）

セブン独り言

（低めを引っ掛けましょう！）

【ピシユ！】

田井中律

「もらったあ！」

【カキイン！】

scarlet

「はい」

scarletが取って二塁へ

ウルトラマンゼロ

「それ」

二出川塁審

「アウト！」

リズムに乗ってウルトラマンゼロおんが二塁へ

しら

「アウト」

村田塁審

「アウト」

田井中律

「ぎゃあー！」

4-6-3のダブルプレー！

無死1、3塁のピンチからikkisさんが乗り切った。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表（後書き）

桜ヶ丘 10

小説 一

桜ヶ丘

平沢唯 / 田井中

小説

ikki / セブンの独り言

【一回表】

? 中野梓

2ストライクと追い込まれたがレフト前にヒット。

? 秋山澪

送りバントの構えを見せたがヒッティング、12Mの風も味方しラ  
イト前にヒット。

? 平沢憂

狙いを外されキャッチャーフライと思いきや、またしても12Mの  
風が邪魔するが、三塁紀葉が好補。

? 田井中律

攻撃的な打撃が裏目に出て、4-6-3のダブルプレー。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】 1回裏（前書き）

途中で作者さんの名前が呼び捨てになっている箇所がございます。

ご了承ください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏

桜ヶ丘ティータイムの攻撃が終わり、桜ヶ丘ティータイムの選手が  
守備につく。

阪神虎之介

「先発平沢唯ですか」

i k k i

「どうなんだろ？彼女？」

平沢唯

「行くよりっちゃん！」

田井中律

「来い唯！」

平沢唯が投球モーションに入った。

阪神虎之介

「なんだあれ！？」

双樹榎

「うわ！」

千歳涼介

「始めてみるなああのフォーム」

紀葉

「変則か」

阪神虎之介

「あつ、でもあれヒラヒラ投法だ！」

i k k i

「よく見るとそつだね」

阪神虎之介

「打てなくは無いだろ？」

双樹榎

「はい」

阪神虎之介が先頭打者の双樹榎さんに話しかける。

アナウンス

「1回の裏、小説ウイテングスの攻撃は、1番、ライトオ、双樹榎」

双樹榎

「ウツシ！」

田井中律

（唯、最初は様子見のボールな）

平沢唯

（うん）



唯が振りかぶって投げる。

【バシ】

敷田主審

「ボール」

双樹槇

（これは様子見だな）

田井中律

（唯、次はコレ）

平沢唯

（うん）

【ピシュ！】

双樹槇

（おっと）

【バス】

敷田主審

「ボールツウ」

双樹槇

（ボールが手前で落ち込んだ、チェンジアップか？）

双樹槿はそう考える。

田井中律

（唯、決めちゃえ！）

平沢唯

（うん！）

【ピシュ！】

双樹槿

（ストライクゾーンに来た！）

【カキン！】

打ち上げてしまった。

双樹槿

「畜生！」

しかしやっぱり12Mの強風が邪魔し…

バックネットに当たり

敷田主審

「ファールボール！」

双樹槿

「ふう〜」

田井中律

「え、こんなものあり？」

双樹槿は構え直す。

ライトスタンドから声援が聞こえる。

「双樹！ヒット！双樹！ヒット！」

双樹槿

（じゃあさ）

平沢唯が投げる。

【コン】

双樹槿

（こんなのもありな訳だ）

サイド憂へのセーフティーバント

意表をつかれた憂がボールを素手で掴み投げようとするが

双樹槿

「はいセーフ」

平沢憂

「遅かった…」

俊足の双樹楯が塁に出る。

アナウンス

「二番、レフト、鷹峯瑛！」

「黄金魂」の曲に合わせて鷹峯がバッターボックスに入る。

唯一塁にランナーがいるためクイックになる。

鷹峯

（監督、バントしますか？）

鷹峯は阪神虎之介に「バントするか」の確認をする。

阪神虎之介

（まだいいよ）

それを拒否

阪神虎之介

（ゲッツーでもいいから当たっていけ！）

平沢唯がクイックで投げる。

【ピシュー！】

【カキーン！】

初球を上手くレフトに打った。

「オ〜オ〜オ〜オオ…」

ヒットテーマが流れる。

アナウンス

「三番、サード、紀葉！」

無死1、2塁のチャンス！

打席には主力打者の紀葉さんが立つ。

観客？

「紀葉ア〜、打つて〜」

観客？

「紀葉さあん！」

だからチャンステーマ発動である。

紀葉さんの場合、元々の曲が福岡ソフトバンクの内川のヒットイン  
グマーチなので、福岡ソフトバンクの「ワッショイ」がチャンステ  
ーマに使われる。

「ワッショイワッショイ！」

紀葉

「すう〜、はあ〜」

打席の中で深呼吸する。

「紀葉！」

紀葉

（風はセンターから吹いてるから、長打は無理、だから軽打で相手のミスを誘う！）

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライク！」

紀葉

（そのためには外角の球が欲しい）

田井中律

（外角にボールを）

平沢唯

（は〜い）

平沢唯が振りかぶって投げる。

外角のボールだが

紀葉

（（。 。 ）キター！）

【ガキン！】

田井中律

「ボール球を打った!?」

ボールはシヨートの中野梓の目の前に落ちる。

田井中律

「あずさ!一塁!」

中野梓

「はい!」

一塁に送球し、アウトになったが

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ!」

ウルトラマンゼロ

「シュワ!」

大型遊撃手である。

ここで初めて山中監督が動く!

山中さわ子

(敬遠しなさい)

田井中律

(はい)

平沢唯

(わかった、さわちゃん)

そして…

敷田主審

「ボールフォア！」

一死満塁

やっぱりチャンステーマが止まらない！

しら

(よっしゃ)

しらさんが気合いを入れ直す。

田井中律

(外野バツク、バツク)

外野が微妙に下がる。

「ワツシヨイ！ワツシヨイ！」

最早、外野スタンドはお祭り状態だ。

平沢唯

(りっちゃん、私低めに投げたい)

平沢唯が田井中律にそう要求する。

田井中律



(いいよ)

しかしこれが命取りになる。

【ピシュ！】

田井中律

「あ！！」

ボールが高めに来た。

しら

「もらったあ！」

【カアキーン！】

渴いた音が聞こえた。

レフトの真鍋和が下がる下がる。

がら空きの外野に落ちた。

「ワアアアアアアアア！！」

ライトスタンドから歓声があがる。

真鍋和が打球に追いついて投げても既に3人が返ってきてた。

しらのタイムリー3ベースヒットである。

マウンドに集まる桜ヶ丘ナイン

田井中律

「唯ドンマイ、私が悪かった」

平沢唯

「別にいいよ、失投した私も悪いから」

中野梓

「まだ一回ですから」

田井中律

「それより得点されたショックを背負うなよ」

平沢唯

「うん！」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

セブンの独り言

「ウツシ！」

「続け、続けセブン！続け、続けセブン！」

一死三塁

レフトスタンドに陣取っている広島応援団は複雑な気持ちだ。

なぜならいつもなら自分らがやる曲だから

平沢唯

(どうするの?)

田井中律

(パワーで押すタイプだから低めで)

平沢唯

(はい)

【ピシユ!】

セブンの独り言

(初球は見送る)

敷田主審

「ボール!」

律は唯にボールを返した瞬間、「力抜け」とジェスチャーした。

平沢唯

「ふう〜」

一回深呼吸した後、律を見る。

セブンの独り言

(俺みたいなのバッターだったらボール球誘って引っ掛けるはずだ)

自分もキャッチャーであるセブンの独り言は律のリードを予測する。

田井中律

（徹底的に低めを攻めるよ）

【ピシユ！】

敷田主審

「ボールツウ！」

セブンの独り言

（低めを中心に攻めるなあ）

セブンの独り言は敷田主審にタイムをかけた。

敷田主審

「タイム！」

セブンの独り言はバットを構え直す。

セブンの独り言

「どうも」

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（低め！低め！）

平沢唯

(うん！)

ちなみに内野はバックホーム態勢である。(前進守備)

【ピシュ！】

セブンの独り言

(これもボール)

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ぐっ…」

2ボール1ストライク

平沢唯

「ほい！」

【ピシュ！】

【ガキン！】

ボールはファウルゾーンへ

村田塁審

「ファール」

山中さわ子

「アイツ粘るわね……」

セブンの独り言

「ふ〜」

平沢唯

「りっちゃんどうしよう〜」

田井中律

「落ち着け唯」

セブンの独り言

（低めにヤマはるか）

平沢唯がサインを確認する。

田井中律

（徹底的に低め）

平沢唯が振りかぶって投げる。

【ピシユ〜！】

低めの直球

【カキーン！】

狙い打ちした。

打球はライトに飛ぶ飛ぶ…

しかし風に戻される。

しら

「タッチアップかな？」

さあライトの秋山澪が捕球する！

三塁コーチ

「GO！」

しらがタッチアップ！

田井中律

「ノーカット！」

中継しないで直接投げるよう指示。

ライトから良い球が返ってくる！

しらがホームベースに突っ込む！

【ズザザザザ…】

判定は…

敷田主審

「セーフ！」

しら

「よっしゃー!」

阪神虎之介

「4点目」

小説4-0 桜ヶ丘

山中監督がマウンドに行く。

山中さわ子

「唯大丈夫よ、落ち着いていきなさい」

平沢唯

「うん…」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介」

B・z「Don't wannalie」が流れる。

千歳涼介

「まさか1回で打席に立つとは…」

阪神虎之介

(初回到4点も取れたのは凄い…)

ikki

「すいません、俺は準備しといた方がいいですか?」



さつきまで i k k i さんは鷹峯さんの打席の時からグラウンドの片隅で投球練習をしていたが、もう七番なので打席に立つ準備をするかと聞いてきた。

阪神虎之介

「うーん、八番の s c a r l e t さんが打席に立つたら準備して」

【カキン！】

阪神虎之介

「あー！」

二出川塁審

「アウト！」

千歳涼介

「チツ」

阪神虎之介

「ナイスバツティング！」

千歳涼介さんはジャストミートティングしたが、余りにも当たりが良すぎてセカンドライナーに終わった。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】1回裏（後書き）

1回裏終了

桜ヶ丘 0—0

小説 4—4

桜ヶ丘 平沢唯／田井中律

小説 i k k i / セブンの独り言

【小説ウィテングス】

? 双樹榎

意表のセーフティーバントで出塁。

? 鷹峯瑛

初球打ちでレフト前ヒット。

? 紀葉

上手くショートゴロで後に繋げる。

? ウルトラマンゼロ

敬遠される。

?しら

平沢唯の高めの失投を巧打。普通ならホームランだが12Mの風により3ベース。

?セブンの独り言

ライトへの犠牲フライで4点目。

?千歳涼介

ジャストミートイングしたがセカンドライナー！。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】2回表（前書き）

他球場の途中試合経過

学園都市ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ（明治神宮野球場）

学園都市1-0マリオ（2回表終了）

【学園都市投手】

佐天

【マリオ投手】

ドンキー

インデックス対亀有ポリスマンズ（横浜スタジアム）

インデックス0-3亀有（2回表途中）

【インデックス投手】

上条

【亀有投手】

両津

ポケットモンスターズ対ジャイアンズ（わかさスタジアム京都）

ポケット0-6ジャイアンズ（1回表途中）

【ポケット投手】

サトシ・レッド

【ジャイアンズ投手】

剛田

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表

先制のタイムリー3ベースヒットを放ったしらさんに応援団がコールする。

「し〜ら【ダダン】「し〜ら【ダダン】「し〜ら

しら

「ありがとう!」

しらさんがライトスタンドへ応える。

スタンドが湧く。

「ワアアアアアアア!」

アナウンス

「2回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、五番、ファースト、琴吹  
紬」

「むーぎちゃん!」

セブンの独り言

(パワーヒッターだ、気をつける…)

内野は後退する。

紀葉

(サードに來い、捌いたる)

「むぎぎー！むぎぎー！むぎぎー！」

広島応援団の元、レフトスタンドではスクワット応援が行われる。

セブンの独り言

（最初はボールで）

i k k i

（了解）

【ピシュー！】

琴吹紬

（フフフ…）

【カキーン！】

i k k i

「な！」

外のボール球を振った。

しかも…

しら

「はっや！」

ファーストを抜けた。

しら

「なんだ今の!？」

紀葉

「はええ……」

琴吹紬

「フフフ……」

ikkiki

「またノーアウトでランナーか……」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

平沢憂同様に打てる6番打者である。

真鍋和

(上手く風に乗せて行けば)

そう考える真鍋和

紀葉

(風に乗せるかも)

ikkikiさんが振りかぶって投げる。

【ピシユー!】



内角高めの直球だ。

【カキーン！】

それを打つ。

scarlet

「とれへんわ」

打球はちよつと押し戻されてセンター前に

千歳涼介

「これで無死1、2塁かあ」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

紀葉

「タイムお願いします」

小寺墨審

「タイム！」

紀葉さんがマウンドに駆けつける。

紀葉

「ikkikiさん、4点リードなんでのんびり行きましょつよ」

ikkiki

「そうですね、4点取られてもいいんですから」

紀葉さんがサードに戻り、試合再開

山中さわ子

「4点ビハインドよ！この回1点でも多く返すわよ！」

ikk iさんが振りかぶって投げる。

【ピシュ！】

鈴木純

「わっ！」

敷田主審

「ストライク！」

鈴木純

（手前で球が伸びてる…）

セブンの独り言

（吹っ切れたようだな）

ikk i

（今の俺はド真ん中に投げても打たれないぜ！！）

セブンの独り言

（外角高めに変化球）

ikk i

(了解！)

【ピシュ！】

鈴木純

「う！」

敷田主審

「ストライクツウ！」

鈴木純

(今の振ったら確実にゲッツーだった…)

セブンの独り言

(引つかかれよ…)

そう悪態をつくセブンの独り言

セブンの独り言

(それでは内角低めに沈むシンカーで、ボールになってもいいです)

i k k i

(はい)

【ピシュ！】

鈴木純

「これ打てる！」

【カキーン！】

打球はショートへ

ウルトラマンゼロ

「シュワチ！」

ウルトラマンゼロさんが思い切りジャンプするが…

小寺墨審

「フェア！」

レフトへヒット

無死満塁

アナウンス

「八番、センターア、奥田直」

「誰だあ〜！？」

観客の野次が飛ぶ

今年から始まった「けいおん！在校生編」の新キャラである。

奥田直

「はあ〜…」

果てしなく奥田直は落ち込んでいる。

奥田直

(なんで斉藤さんが選ばれないのですか?)

セブンの独り言

(まあコイツだったら満塁HR無いな…)

ikk i

(代打出してやれよ…)

ikk iさんも低評価だ。

セブンの独り言

(ここでゲッツーにしますか)

ikk i

(はい)

【ピシュ！】

奥田直

「わぁ！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言

「ビビってんの?」

奥田直

「え…」

セブンの独り言

(雑魚だから別にド真ん中でもいいよ)

i k k i

(はい)

【ピシュ!】

奥田直

「あ!」

【カアキン!】

紀葉

「よつと」

【バシッ!】

小寺墨審

「フエア!」

打球は三塁紀葉へ

紀葉さんが三塁ランナーの琴吹紬を確認すると

ホームフォースアウトには間に合う

しかし紀葉さんは三塁を踏む

小寺墨審

「アウト！」

三塁フォースアウト

紀葉

「セカンドオ！」

セカンドへ送球。

scarlet

「よっしゃあ！」

scarletさんが二塁踏んでセカンドフォースアウト。

scarlet

「しらさん！」

scarletさんがしらさんに送球する。

最悪トリプルプレーだが

奥田直

「わあああ！」

こけたようなヘッドスライディングだが

村田墨審

「セーフ！」

「うおおおお！」

ゲッツーだが1点を返した。

小説4-1 桜ヶ丘

奥田直

「ハアア〜」

しら

「ナイスファイト」

奥田直

「あ、ありがとうございます……」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

「ゆーいちゃん！」

平沢唯

「よっし！」

セブンの独り言

(コイツは良く分からないな…天然キャラだけに)

i k k i

(どっします?)

セブンの独り言



(とりあえず内角に威嚇)

i k k i

(威嚇ですね)

【ピシュ!】

平沢唯

「ヒヤア!」

敷田主審

「ボール!」

阪神虎之介

(危ないな今の…)

セブンの独り言

(やり過ぎ…今の失敗したら危険球退場だぞ…)

i k k i

(威嚇だけに)

セブンの独り言

(次は外角で)

【ピシュ!】

【カキイン!】

i k k i

「よしじゃあー！」

ikkいさんが捕球しー塁へ

村田塁審

「アウトー！」

無死満塁から紀葉さんのナイス判断力もあり1点で抑えた。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】2回表（後書き）

桜ヶ丘 01 — 1

小説 4 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯 / 田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 琴吹紬

目の覚めるような弾道でライトにヒット

? 真鍋和

風に上手く乗せてセンターにヒット

? 鈴木純

レフト前ヒット

? 奥田直

サイドゴロで紀葉さんがホームフォースアウトよりゲッツーかトリプルプレーにした方がいいと判断し、ゲッツーに

? 平沢唯

内角への威嚇球でビビったのかと思いきや外角のボールは打ったが  
ピッチャーゴロ

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティールタイム】2回裏

4-1と小説ウイテングス3点リードの中、打席にはscarle  
tさんが立った。

平沢唯

「よし！」

田井中律

「しまつていくぞー！」

そう叫んで田井中律はマスクを被る

田井中律

(最初はチェンジアップだ)

平沢唯

(うん！)

【ピシュ！】

【カキン！】

田井中律

「セカンドオ！」

鈴木純が華麗に捌いてアウト。

アナウンス

「九番、ピッチャー、i k k i」

i k k iさんが打席に立つ。

i k k i

(俺ピッチャーだからここは三振で行こう)

そして…

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

それと同時に名物の「卍」が見れた。

阪神虎之介

「あれが敷田さんの卍かあ」

バッターは一巡して一番双樹楯

運動会でお馴染みの「天国と地獄」が流れる。

平沢憂

(またセーフティーがあるかも…)

平沢憂が前進する。

田井中律

(こいつには初球チェンジアップで…、セーフティーがあるかも知れないから)

律もそう考える。

平沢唯

(わかった)

【ピシュ！】

【サツ】

敷田主審

「ボール！」

ちょっと低め過ぎてボール。

田井中律

「次は高めに直球」

平沢唯

「わかった」

【ピシュ！】

すると双樹槓が、バットを持ち替える。

田井中律

「しまった！」

【カキーン！】

バスターである。

前進守備の平沢憂へ流し打つ

平沢憂

「キャア！」

しかし打球は

中野梓

「ニヤア！」

中野梓がキャッチ！

そして送球。

村田墨審

「アウト」

3者凡退

阪神虎之介

「嫌だなあ…この感じ…」



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

桜ヶ丘 01—1

小説 40—4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikki／セブンの独り言

?scarlet

チェンジアップを打つがセカンドゴロ

?ikki

見逃し三振

?双樹槇

バスターするが中野梓のファインプレーでチェンジ。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】3回表

アナウンス

「3回表、桜ヶ丘ティータムの攻撃は一番、シヨート、中野梓」

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！」

レフトスタンドからかつ飛ばせコールが聞こえる。

そしてライトスタンドの一部のファンから

「サードヘライナーあずさ！サードヘライナーあずさ！サードヘライナーあずさ！」

試合中の作者みたいな事をやっているファンがいた…

ちなみにこれを読売の長野にやったら本当にサードライナーになってくれたw

そして我らがドヤ顔新井さんと紀葉さんだったら期待度は遥かに違う。

新井>紀葉

そう話しているうちに2ボール2ストライク

中野梓

「打つてやるですー!」

ikkki

(セブンさん…、フルカウントにします?)

セブンの独り言

(ここで勝負を決める!内角に直球!)

【ピシュ!】

中野梓

「じゃあ!」

【カキーン!】

ikkki

「うわあ!」

ikkkiさんの股間を破りセンター前ヒット。

山中さわ子

「いいわよーあなた達」

アナウンス

「二番、ライト、秋山滯」

山中さわ子

(3点差だから送りバンドなんかせずにガンガン行くわよ!)

秋山澪

(むしろバンドしたほうがいいと思う…)

「熱く！熱く！ぶち当たれ！」

秋山澪

「ヒイ！」

突然、レフトスタンドが「ライジングテーマ」が始まった。

ライジングテーマ…横浜チャンテ

中野梓の応援歌に横浜の石川を使っているため、勢い余った応援団がやり始めてしまった。

阪神虎之介

「この歌いいよね」

秋山澪はガチガチだ。

セブンの独り言

(なんだこいつ、ガチガチに緊張してるな…)

i k k i

(それじゃ外角低めに直球)

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライク！」

平沢唯

「みおちゃんリラックス！」

秋山澪はバッターボックスから離れて深呼吸

セブンの独り言

「大変だな」

i k k i

(次…低めにシンカー)

セブンの独り言

(いいよ、ボールにしろ)

【ピシユ！】

秋山澪

「ヒイ！」

【カキイン！】

敷田主審

「ファウルボール！」

2ストライクに追い込まれた。

阪神虎之介

「まずこれでバンドは使えない……」

セブンの独り言

(一球間を開ける、ボールにしろ)

ikk i

(了解)

【ピシュ!】

敷田主審

「ボール」

平沢憂

「澁さんしっかり!」

セブンの独り言

(ラスト!)

ikk i

(おう!)

【ピシュ!】

【バス!】

敷田主審

「スットライクアウトウ!」

卍!

秋山澪

「ハア……」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

セブンの独り言

（一番嫌なバッターだ……）

i k k i

（初球高めのスライダー）

セブンの独り言

（絶対ボールにしろ）

【ピシユ！】

敷田主審

「ボール！」

山中さわ子

「憂ちゃんファイト！」

平沢唯

「うっ……いっ！」

風は相変わらずの12M

セブンの独り言

（低めをお願いします）

i k k i

(了解)

【ピシュ！】

【カキーン！】

紀葉

「くっ…」

打球はサード紀葉の頭上！

フェアかファウルか…

小寺墨審

「フェア！」

ギリギリフェア！

打球はレフトを転々とする。

レフトの鷹峯がようやくフェンスについた打球を送球。

セブンの独り言

「くっ…」

一死2、3塁

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」



さっきゲッツーに終わった四番打者である。

田井中律

「行くわよ!」

セブンの独り言

(一塁空いてるけど)

阪神虎之介

(敬遠するなよ)

阪神虎之介は外野陣にバックホームの態勢を指示。

山中さわ子

(あっちは外野フライを狙ってるわね)

i k k i

(高めのフライ?)

セブンの独り言

(だから高めに、ボールが分からないような奴)

i k k i

(了解)

【ピシユー!】

田井中律

「よっしゃあ！」

【カキイン！】

i k k i

「外野行つたぞー！」

センターへ打球が

三塁ランナーの中野梓はタッチアップの構え

千歳涼介

「バックホームー！」

そう叫んでバックホーム！

三塁ランナー中野梓タッチアップ！

セブンの独り言

「ノーカット！」

i k k i

「おっと」

送球はワンバウンドでホームへ

タイミングは微妙だ

セブンの独り言はタッチするが

セブンの独り言

「タツチタツチ！」

敷田主審

「セーフ」

「ワアアアアアア！」

小説4ー2 桜ヶ丘

二塁ランナーは三塁へ

二死三塁

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

さっきはライトへ弾丸ランナーを放った紬がバッターボックスへ

山中さわ子

「いけいけ！」

4点差から2点差に…

阪神虎之介

（あちらさんイケイケムードだなあ…）

セブンの独り言

（嫌なバッターだコイツも…）

i k k i

( どうじます? )

セブンの独り言

( まあこの風ならパワーがあっても届かないよな )

i k k i

( そうだな )

【ピシュ!】

【カキイン!】

i k k i

「あ!」

【バシ!】

紀葉

「よっし!」

小寺墨審

「アウトウ!」

三墨ライナー

阪神虎之介

「この回巻き返すぞ!」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】3回表（後書き）

【3回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 — 4

? 中野梓

センター前ヒット

? 秋山澪

見逃し三振

? 平沢憂

三塁線を突き抜ける2ベースヒット

? 田井中律

センターへ犠牲フライ

? 琴吹紬

サードライナー

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】3回裏

3回裏開始前に小説ウィテングス側が円陣を組む。

阪神虎之介

「ちょっと場の空気が悪いです」

双樹榎

「とうとうと?」

阪神虎之介

「スコアボードを見てください」

そう言ってみんな一斉にスコアボードを見る。

すると

しら

「あ!」

紀葉

「あれ?」

阪神虎之介

「気づいてるかもしれませんが、ヒット数桜ヶ丘7本に対してウチらは4本です」

ikki

「効率よく点が穫れてる証拠じゃん」

阪神虎之介

「逆に見れば、押されています」

ikki

「まあそうだね…」

阪神虎之介

「そこでこの回から2ストライクまではボールを見送ってください」

しら

「何ですか？」

阪神虎之介

「ティータイム先発の平沢唯…彼女はもう体力限界まで来ています」

紀葉

「スタミナ無いんですね」

阪神虎之介

「そこで一気に削ります」

千歳涼介

「分かりました」

アナウンス

「3回裏、小説ウイテングスの攻撃は2番、レフトオ、鷹峯瑛」

「鷹峯さあん！」

「セーフティーセーフティー！」

鷹峯

「よしだったら」

鷹峯さんはセーフティーの構えを見せる。

田井中律

（セーフティー？）

平沢唯

（セーフティー！？）

【ピシュ！】

投球と同時に平沢唯は走る！

しかしバットを引く。

敷田主審

「ボール！」

田井中律

「何だよ……」

続く二球目

鷹峯

（バント……）



平沢唯

(また?)

また投球と同時に走る。

しかし見送る

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

(参ったな…揺さぶってる…)

田井中律はそう考えると平沢唯を見る。

彼女は明らかに肩で息をしている。

田井中律

(不味いな…)

田井中律はど真ん中に投げるように指示。

平沢唯

(わかった)

【ピシュ！】

また見送る。

敷田主審

「ストライクツウ」

阪神虎之介

「いいぞいいぞ」

田井中律

（次は高めの直球）

【ピシュ！】

【カキイ…】

敷田主審

「ファウルボール」

ワザと鷹峯さんは振り遅れる。

確実に粘っている証拠だ。

平沢唯

「ハアハア…」

田井中律

「唯、頑張れ！」

平沢唯

「う、うんりっちゃん」

平沢憂

「お姉ちゃん…」

ベンチでは

山中さわ子

「曾我部さん肩作って」

曾我部恵

『分かりました』

ブルペンに電話する。

結局、鷹峯さんには四球で出塁。

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉さんはネクストバッタースークルでバットを回しながら打席に立つ。

2ストライク戦法は変わらない

紀葉

（だけどね）

【ピシュ！】

紀葉

「上手い所に来たら打つ！」

【カキイン！】

中野梓

「わぁ！」

シヨートを超えた。

レフト前ヒット

ウルトラマンゼロ

「さぁ、今度は打たせてくれよ……」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアア！」

スタンドが湧く

「頼んだ！」

ウルトラマンゼロ

「シュワッ！」

田井中律

（どどどしどど…）

平沢唯

（りっちゃん〜）

平沢憂

「タイム、お願いします」

小寺墨審

「タイム」

平沢憂はマウンドに行く

平沢憂

「お姉ちゃん、頑張って」

平沢唯

「うっい」

平沢憂がサードに戻り、試合再開

平沢唯

「それ」

【ピシュ！】

高めのボール

田井中律

「マズい！」

【カキイン！】

平沢唯

「あ！」

打球はレフトとセンター…

奥田直

「あ…、あ…、あ…」

真鍋和

「奥田さん！任せて！」

奥田直

「はいい！」

しかし打球は

真鍋和

（これホームラン？）

ホームランかと思ったら

【ガシャン！】

風に戻されてもフェンス激突の当たり

バウンドボールを捕った真鍋和は中継の中野梓に投げる。

真鍋和

「シヨート！」

しかしその間に鷹峯さんはホームイン

紀葉さんも二塁回る。

中野梓がボールをキャッチ！

田井中律

「バックホーム！」

中野梓

「はい！」

ボールをホームに送球。

【ズザザザザ】

田井中律

「わぁ！」

クロスプレーと思いきや、田井中律はショートバウンドした送球を取り損ないセーフ。

その間にウルトラマンゼロさんがホーム突入。

平沢唯

「りっちゃん！」

てつきり三塁に止まったと思った田井中律はビックリするがホームにボールを投げる。

【パシ！】

ウルトラマンゼロ  
「シュワ！」

【ズザザザザ】

平沢唯

「キヤア！」

平沢唯は転倒し…ボールを落とした。

敷田主審

「セーフ」

阪神虎之介

「よっしゃあ！」

i k k i

「やった！」

ウルトラマンゼロさんのランニングホームラン！

小説7-2 桜ヶ丘

そして、山中さわ子監督がマウンドに向かい

山中さわ子

「ピッチャー、曾我部恵」

敷田主審

「分かりました」



平沢唯、2回0/3、7失点で降板

田井中律

「大丈夫、敗戦投手にはしない」

平沢唯

「うん、みんなごめんね」

中野梓

「気にしないでください」

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、ピッチャーの交代を致します。平沢唯に変わりました、曾我部恵、ティータイムのピッチャー、曾我部恵」

レフト後方からリリースカーが出てきた。

そしてそれに乗って曾我部恵が出てくる。

曾我部恵

「平沢さん後は任せて」

平沢唯

「お願いします」

ライトスタンドでは見計らったように阪神応援団による相手投手K  
O時の曲「螢の光」が歌われ始めた。

「燃えろ！阪神タイガース!!!」

そして静かな卒業ソングから一気に六甲おろしを歌い始める。

山中さわ子

「くう…」

阪神虎之介

「空気が変わった!」

規定の投球練習が終わり

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、しら」

しら

「よっし!」

曾我部恵

(田井中さん行きますか)

田井中律

(はい)

【ピシユ!】

しら

「おっ」

敷田主審

「ストライク!」

しら

（ボールが落ちた…フォークか？）

曾我部恵

（お次は…）

【ピシュ！】

しら

（お？）

敷田主審

「ボール」

しら

（何だ今の…スライダー？）

阪神虎之介

（変化球が多そうになって）

曾我部恵

（そして）

【ピシュ！】

しら

（ん？）

敷田主審

「ボールツウ」

阪神虎之介

（今の…って…）

i k k i

（まさか…）

しら

（ナツクル？）

曾我部恵

（フフフ…）

田井中律

（捕るのが大変）

しら

「タイム！」

しらさんは打席から一回離れる。

ネクストバッタースサークルまで戻ってセブンの独り言さんから滑り止めのスプレーを貰う。

セブンの独り言

「どっぞ」

しら

「ありがとう」

セブンの独り言

「ナツクルですね、あれ」

しら

「やっぱり」

セブンの独り言

「そうすると厄介ですね」

しら

「だな」

しらさんは滑り止めのスプレーを使つと打席に戻つた。

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（ナツクル多用はあまりしたくない）

曾我部恵

（分かつてるわ）

【ピシユー！】

しら

（ストレート）

【カキインー！】

平沢憂

「やつ！」

サイドへ抜ける当たりだったが、平沢憂が上手く飛びついて送球。

【パシ！】

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

曾我部恵

（こつゆうバッターこそ）

【ピシユ！】

曾我部恵

（ナツクルが使えるのよね）

【カキイ…】

セブンの独り言

「畜生！」

打球はピッチャーの前をいきピッチャーゴロ

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「七番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「ふう〜」

打席の中で千歳涼介さんは深呼吸。

【ピシュ！】

【カキーン！】

阪神虎之介

「ナイスバツテイング！」

千歳涼介

「じゃあ！」

ライト前ヒットで出塁。

scarlet

「よし俺も！」

アナウンス

「八番、セカンド、scarlet」

【カキーン！】

中野梓

「はい！」

村田墨審

「アウト」

s c a r l e t

「ダメでした」



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】 3回裏（後書き）

【3回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 3 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 / 田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 鷹峯瑛

粘って四球

? 紀葉

上手く引つ張りレフト前ヒット

? ウルトラマンゼロ

フェンス激突のランニングホームラン

? しら

変わった曾我部恵の変化球に踊されたがサード強襲のヒット性のあたりを放つ、サードゴロ

?セブンの独り言

ピッチャーゴロ

?千歳涼介

ライト前に上手く流す

?scarlet

平凡なショートゴロ

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】4回表

3回裏終了時、記者席では

記者？

「3回で7-2か」

記者？

「やっぱり打線に迫力のあるからな」

記者？

「それにしてもピッキーの奴出て来ないな」

記者？

「打撃練習には出てきてましたけど、ベンチを眺めてもいませんね」

記者？

「やっぱり代打の練習でもしてるのかなあ？」

記者？

「一番ピッキーだと俺は思ったんだが」

ーライトスタンドー

観客？

「しらみあん！紀葉みあん！ウルトラマンゼロみあん最高ー！」

観客？

「けどこの横断幕どうする？」

この観客は試合開始から「獣王無敗!」や「燃やせ野球魂!」等の横断幕を掲げているが、もう一枚「俺の誇りピッキー!」という横断幕がある。

要はこの小説に参加した作者さんの1人、ピッキーさんのファンだ。

観客?

「出てこないからかあ」

観客?

「ベンチ入りメンバーにはしっかり名前が出たんだけど」

観客?

「早よ出てきてくれえ」

ー 墨ベンチー

ピッキー

「3回終わって7-2ですか」

阪神虎之介

「けどあちらさんも当たっている」

ピッキー

「代打の用意はいつでもいいですよ」

阪神虎之介

「よろしくお願いします」

アナウンス

「4回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、六番、レフト、真鍋和」

ikki

「5点差だ、のびのび行こう」

セブンの独り言

「そうですね」

敷田主審

「プレイ！」

【ピシュ！】

【カキーン！】

セブンの独り言

「あ！」

ikki

「く……」

甘く入った球を痛打されセンター前ヒット

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

阪神虎之介

「しかしなあ……」

鈴木純

「わあ……」

阪神虎之介

「こいつの時だけ応援が凄い」

今回のこの試合に関わらず、その選手の応援歌はその元となった選手  
の所属球団の応援団がやる事になっている。

鈴木純の場合、元にしたのは現広島東洋カープの石井琢朗である。

石井琢朗の場合、前所属球団が横浜ベイスターズである。

そしてなんと使われている応援歌はそのままである。

だから一緒にやることができるし、ファンも知っているため、普段  
の倍になる。

無死一塁

i k k i

( どうします? )

セブンの独り言

( 真鍋は足もある )

i k k i

( しかし5点差ですよ )

セブンの独り言

(じゃ律儀に送りバントか?)

阪神虎之介

(送りバントは無い、山中監督は強行してくる)

山中さわ子

(まずは空気を変える事が大事)

【ピシュ!】

【カキーン!】

ウルトラマンゼロ

「シュワッ!」

【パシ!】

二出川墨審

「アウト」

ショートライナー

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

奥田直

「ハワワ…」

真鍋和

(ここは…)

【ピシユ！】

真鍋和

（盗墨！）

【パシ！】

セブンの独り言

「マジか！？」

【ピシユ！】

【パシ！】

二出川墨審

「セーフ」

山中さわ子

（ありがとう真鍋さん）

そして

【コン…】

紀葉

「送りバントかあ…」

ikk i

「ファースト」



紀葉

「はい」

村田墨審

「アウト」

二死三塁

アナウンス

「九番、ピッチャー、曾我部恵」

i k k i

(ここで断ち切りましょう)

セブンの独り言

(そうだな)

【ピシユ！】

【カキイ】

敷田主審

「ファール」

セブンの独り言

(当てにいつてる)

i k k i

(だな)

【ピシュ！】

【カキイン】

敷田主審

「ファール」

ikk i

「二球続けてファールか」

セブンの独り言

（だったらもう）

【ピシュ！】

【カキイン！】

セブンの独り言

「転がすしか無い」

打球は二塁scarletさんへ

scarlet

「あじょつと」

【パシー！】

村田主審

「アウト」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】4回表（後書き）

【4回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 1 2

小説 4 0 3 1 7

? 真鍋和

センター前ヒット

? 鈴木純

ショートライナー

? 奥田直

送りバント

? 曾我部恵

セカンドゴロ

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】4回裏

アナウンス

「4回裏小説ウィテングスの攻撃は九番、ピッチャー、i k k i」

曾我部恵

「それじゃ行きますか」

【ピシユ！】

【バシィ！】

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

（また振る気無し）

曾我部恵

（振らない？）

【ピシユ！】

【バシィ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

田井中律

(振らない…)

ikki

(体力温存だ…、振るわけがない)

【ピシュ！】

【バシイ！】

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

卍！

アナウンス

「一番、ライト、双樹槿」

阪神虎之介

「打順は早くも3巡目か」

双樹槿

(ナツクルポラーか)

田井中律

(初球これで)

【ピシュ！】

双樹槿

「おっ」

敷田主審

「ストライク」

双樹槿

（初球ナツクル…）

田井中律

（次は…）

【ピシュ！】

双樹槿

（え？）

【バシィ！】

130km台の直球

敷田主審

「ストライクツウ！」

双樹槿

（クツン）

田井中律

（3球目は…）

【ピシュ！】

双樹槿

（ナツクル！！）

【カキイ…】

敷田主審

「ファール」

双樹槿

（打ちづらい…）

田井中律

（捕りづらい…、次は）

【ピシュ！】

双樹槿

（直球？）

双樹槿さんは直球と思い振りに行くが

【ストーン】

双樹槿

「な！？フォーク？」

【ブーン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

祀！

双樹榎

「畜生」

アナウンス

「二番、レフト、鷹峯瑛」

鷹峯

「厄介だな」

田井中律

（それでは）

【ピシユ！】

鷹峯

（お？）

【カキイン！】

田井中律

（しまった！）

小寺墨審

「ファール」

鷹峯

「くっ……」



田井中律

(危ない危ない、高めにストレートが来たからヒヤッとしたよ)

曾我部恵

「ふう」

田井中律

(それでは…)

【ピシュ!】

鷹峯

(好球だあ!)

【カキイ!】

打球はショート中野梓を…

【バシイ!】

二出川塁審

「アウトウ!」

中野梓のファインプレー

鷹峯

「はあ…」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】4回裏（後書き）

【4回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 1 2

小説 4 0 3 0 1 7

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 / 田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? i k k i

今後の体力の事もあり三振

? 双樹槇

三振

? 鷹峯瑛

ショート中野梓のファインプレーがありショートライナー

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】5回表（前書き）

この話以降作者の独断で選手交代が行われたり、選手不足の為、内野手や外野手でも投手や捕手をやるかもしれません。

ご了承ください。

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】5回表

5回表開始前にグラウンドキーパーの方々がグラウンドの整備を行う。

今日は5回裏終了時に花火をやる予定だったが…

アナウンス

「今日は強風の影響により5回裏終了時の花火を中止にさせていただきます」

阪神虎之介

「仕方ないな」

ピッキー

「12Mですものね」

しら

「見たかったな…」

アナウンス

「お待たせしました。5回表の桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、シヨート、中野梓」

中野梓

「5点差です！打ってやるです！」

セブンの独り言

（初球内角に）

i k k i

(はい)

【ピシユ!】

中野梓

「ヒヤア!」

敷田主審

「ストライク!」

セブンの独り言

(続けて外角に)

【ピシユ!】

敷田主審

「ストライクツウ!」

セブンの独り言

(よし最後に…低めのストライクからボールになるシンカー)

i k k i

(はい)

【ピシユ!】

中野梓

(入ってる!)

【ブン！】

中野梓

「あ……」

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

卍！

中野梓

「うう……」

i k k i

（斬り込み隊長の梓を三振！）

アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

秋山澪

「打たなきゃ打たなきゃ打たなきゃ打たなきゃ打たなきゃ」

平沢唯

「澪ちゃんリラックス！」

田井中律

「澪！怯えるな！」

秋山澪

「そうだ…、深呼吸…深呼吸…」スウ〜ハア〜

セブンの独り言

(ゴゴってるゴゴってる)

i k k i

(下、上?)

セブンの独り言

(上でお願いします)

i k k i

(はい)

【ピシユ!】

秋山澪

「ヒイ!」

【カキイン!】

平沢唯

「あ!」

田井中律

「何やってんだ?」

セブンの独り言

「おっと」

【パス！】

敷田主審

「アウトウ」

秋山澗

「ヒイイ…ライト守っている時の応援が頭にこびり付いて…」

アナウンス

「三番、サード、平沢憂」

平沢憂

「お姉ちゃんを敗戦投手になんかしない！」

セブンの独り言

（じゃあ…）

【ピシユ！】

【カキイン！】

紀葉

「あらよっと」

【パシ！】

小寺墨審

「アウト」

ikki



「ごまあ  
」

セブンの独り言

「よっじゃー！」

平沢憂

「お姉ちゃんゴメン」

阪神虎之介

「あれ見送ればボールじゃない？」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】5回表（後書き）

【5回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 — 2

小説 4 0 3 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯ー曾我部恵ノ田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 中野梓

三振

? 秋山澪

キャッチャー小フライ

? 平沢憂

サードライナー

【途中参加者募集中】

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】5回裏（前書き）

S H …… 福岡ソフトバンクホークス

C M …… 千葉ロッテマリーンズ

T H …… 阪神タイガース

Y S …… 東京ヤクルトスワローズ

H C …… 広島東洋カープ

C D …… 中日ドラゴンズ

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】5回裏

（5回裏開始前のライトスタンド）

応援団？（S H）

「次の紀葉選手の応援歌を変えませんか？」

応援団？（S H）

「そうだな、『内川』はゴロ悪いし」

応援団？（S H）

「じゃあ誰にします？」

応援団？（C M）

「ウチの井口は？」

応援団？（S H）

「いいけどさ、男じゃないだろ？」

応援団？（S H）

「松田選手のはどうです？」

応援団？（S H）

「あ！いいんじゃない？」

応援団？（S H）

「じゃ紀葉選手のは松田選手に変更な」

応援団？（S H）

「え、皆さん！紀葉選手の応援歌ですけど！誠に勝手ながら！松田選手の変えたいと思います！知らない方がいらっしやいましたら、こちらの方に歌詞カードがありますので…」

アナウンス

「5回裏、小説ウイテングスの攻撃は、3番、サード、紀葉」

紀葉

「ナツクルと戦えるのは嬉しい！」

紀葉さんはあることに気づいた。

紀葉

「あれ？曲違くない？」

阪神虎之介

「なんか変わったね」

勿論選手達は知る由もない。

紀葉

「まあいつか」

阪神虎之介

「くくく、あっこれ松田かあ」

曾我部恵

（初球外角に直球）

【ピシユー！】

紀葉

「ボール」

敷田主審

「ボール」

曾我部恵

（外に逸れたわね）

田井中律

（次は入れてください）

紀葉

（次は中に入れてくる）

【ピシユ！】

紀葉

（来た！でもボール）

【バシィ！】

敷田主審

「ストライク」

紀葉

「え〜」

田井中律

(さっきのと同じで)

【ピシュ！】

紀葉

(これはボール)

【バシィ！】

敷田主審

「ストライクツウ」

紀葉

(ええ)

阪神虎之介

(際どいな)

田井中律

(ラストはこれで！)

曾我部恵

(OK！)

【ピシュ！】

紀葉

(真ん中低め…ストライク！)

紀葉さんは振りにいくが…

ボールが不自然な動きをする

紀葉

「くっ…」

【ブーン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

紀葉

「ちくしょ〜」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアアアア！！」

ウルトラマンゼロ

「ナツクルかぁ…」

田井中律

（今度は真ん中から落としてください）

【ピシユ〜！】

ウルトラマンゼロ

（落ちる…）



【バシィ！】

敷田主審

「ストライク」

田井中律

（じっくり攻めて内角に落としてください）

【ピシュ！】

ウルトラマンゼロ

（見送る…）

【バシィ！】

敷田主審

「ストライクツウ」

B

S

O

ウルトラマンゼロ

「追い込まれた…」

田井中律

（一球見送りますか？）

曾我部恵

（そうするわ）

【ピシュ！】

【ダスツ！】

田井中律

「わっ！」

ボールはバウンドしてなんとか止める田井中律

田井中律

（かんでるかんでる）

曾我部恵

（ごめんなさい）

田井中律

（チェンジアップお願いします）

【ピシュ！】

ウルトラマンゼロ

（くっ、チェンジアップ…）

【カキイ】

中野梓

「はい！」

ショート中野梓一塁送球。

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「ナツクルかあ…」

田井中律

（低めに直球）

【ピシュ！】

【バシィ！】

敷田主審

「ストライク」

しら

（初球は見送りか）

田井中律

（次は高めに、但しボールで）

【ピシュ！】

しら

（ボール…）

【バシィ！】

敷田主審

「ボール」

しら

（次は…ナツクルかな？）

田井中律

（ナツクルを一回見せてください）

【ピシュ！】

しら

（これは直球かな？チェンジアップ？）

するとボールが揺れる

しら

（…!!?）

【バシィ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

しら

（あれがナツクル…）

田井中律

(次は直球！)

【ピシユ！】

しら

「あ！」

【カキイン！】

ボールは後ろに

アナウンス

「ファールボールに気をつけてください！」

ファールボールがスタンドに

曾我部恵

「当てた……」

田井中律

(決めはナックルで)

曾我部恵

「OK！」

【ピシユ！】

しら

(ゲ……)

【バシ！】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

しら

「くう…」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】5回裏（後書き）

【5回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 — 2

小説 4 0 3 0 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 / 田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 紀葉

三振

? ウルトラマンゼロ

ショートゴロ

? じら

三振

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】6回表（前書き）

ちよつとこれから省略もします。



【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】6回表

「絶対勝つぞティタイム！絶対勝つぞティタイム！絶対勝つぞティタイム！」

【ダダン】 「i k k i！」 【ダダン】 「i k k i！」 【ダダン】 「i k k i！」

両チームの応援合戦が凄い

アナウンス

「6回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、四番、田井中律」

セブンの独り言

(打てない主砲)

i k k i

(打てない四番打者)

【田井中律の今日の成績】

(二併) (左犠)

阪神虎之介

「四番打者で安牌なの？」

【ピシュ！】

【バン！】

敷田主審

「ストライク」

今のは低めの直球

セブンの独り言

（振らない？）

田井中律

（打たなきゃなあ…）

【ピシユー！】

田井中律

（真ん中高め！）

【ガキイ…】

ボールは後ろへ

敷田主審

「ファール」

田井中律

（追い込まれたあ！）

セブンの独り言

（よおしー！じゃあ…）

【ピシユー！】

田井中律

(際どいが…ボール！)

【パシ！】

田井中律

「……………」

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

田井中律

「ええ！？」

山中さわ子

「ちよつと待って！」

山中監督がベンチから飛び出す。

山中さわ子

「今のどこがストライクなのよ！？」

敷田主審

「ベースに被ってる！ストライクだ！」

山中さわ子

「くっ…」

山中監督が退く

田井中律

「はあ……」

平沢唯

「りっちゃん……」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

「むーぎちゃん!」「【ダンダンダン】」「むーぎちゃん!」

セブンの独り言

(下手したら一番パワーがあるかも……)

ikki

(一球様子見ますか?)

セブンの独り言

(そうだな)

【ピシユー!】

高めにウエイトボールをする。

【カキインー!】

セブンの独り言

「ええ!?!」

打球はレフトへ

鷹峯

「風で右にスライスしてる！」

鷹峯瑛さんはセンターの方に走る。

千歳涼介

「鷹峯さん！無茶しないでください！」

鷹峯

「オラア！」

ヘッドスライティングする鷹峯さんだが…

鷹峯

「捕れない！！！」

打球はセンター千歳涼介さんがキャッチする。

琴吹紬

「二塁は行けないわね」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

セブンの独り言

(やっぱり広角に打ち分けられるから怖い)

i k k i

(あの高めを打つなんて…)

セブンの独り言

(それじゃシンカーでやってみる?)

i k k i

(シンカー…)

【ピシュ!】

真鍋和

(…!シンカー…)

【カキーン!】

セブンの独り言

「狙い撃ち!?!」

打球はライトへ

双樹槿

「流し打ちされたか…」

続く七番鈴木純に四球を出してしまい、一死満塁のピンチ

その時、山中監督が出てくる。

山中さわ子

「バッター、奥田に代わり、斉藤!」

敷田主審

「はい」

敷田主審はそう言うとダクアウトに連絡する。

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、バッターの交代を行います。バッター、奥田直に代わりまして、斉藤薫、ティータイムのバッター、斉藤薫」

斉藤薫

「奥田さんお疲れ」

奥田直

「はい」

阪神虎之介

「動いたな…」

セブンの独り言

（パスボールの危険があるからシンカーは厳禁）

その時、三塁ランナーの琴吹紬が斉藤薫を威嚇？

琴吹紬

【ユラ〜】

斉藤薫

「ヒィ！」

多分「打たないと殺す」だと思っ。





マウンドでは内野陣と阪神虎之介が集まる。

阪神虎之介

「どうします？ikkisan」

ikkisan

「俺以外に投手っているの？」

阪神虎之介

「私とレフトを守っている双樹榎さんが投手です」

ikkisan

「……ここは引きます」

阪神虎之介

「わかりました」

そう言つて阪神虎之介はホームベースに行き

阪神虎之介

「ピッチャーのikkisanさんに代わり、レフトの双樹榎さんが入ります。空いたレフトにジョー・ギブケンが入ります」

敷田主審

「わかりました」

しら

「ikkisanさん大丈夫ですよ！勝ち投手の権利はありますから」

紀葉

「しっかり守りますから！安心してください！」

ikkiki

「ありがとうございます。お願いします。」

アナウンス

「小説ウィテングス、ピッチャーの交代をお知らせ致します。ピッチャーikkikiに代わりまして双樹榎、ウィテングスのピッチャー双樹榎、小説ウィテングス、守備の交代を行います。レフトの双樹榎がピッチャー、ピッチャーのikkikiに代わりましてジョー・ギブケンがレフトに入ります。」

双樹榎

「セブンさんよろしくお願いします」

セブンの独り言

「双樹榎さんはどっちですか？」

双樹榎

「両投両打です」

セブンの独り言

「それは凄い！」

その後、なんとか後続を断った双樹榎さんであった。

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】6回表（後書き）

【6回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 — 6

小説 4 0 3 0 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 / 田井中律

【小説】

i k k i - 双樹榎 / セブンの独り言

【本墨打】

ウルトラマンゼロ1号？

斉藤薫1号？

? 田井中律

三振

? 琴吹紬

ピット

? 真鍋和

ヒット

? 鈴木純

四球

? 奥田直 - 斉藤薫 (代打)

代打満塁本塁打

? 曾我部恵

見逃し三振

? 中野梓

ピッチャーゴロ

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】6回裏

アナウンス

「6回裏、小説ウィテングスの攻撃は、六番、キャッチャー、セブンの独り言に代わりまして、ピツキー」

「エエエエエ!!」

「オオオオオ!!」

観客?

「嘘だろ!?!早すぎるだろ!?!」

観客?

「ピツキーさああん!!」

阪神虎之介

「お願いします!!」

i k k i

「あの、阪神虎之介さん?」

阪神虎之介

「はい」

i k k i

「キャッチャーどうするんですか?キャッチャーなのセブンの独り言さんだけですよ」

阪神虎之介

「……………あ」

ピッキー

(しかしあのアホ、キャッチャーどうする気だよ…いねーぞ)

【ピシユ!】

ピッキー

(内角：威嚇したつもりかあ!!)

【カキイン!】

代わったセンター、斉藤薫の所へ

i k k i

「ナイスバッティング!あれ?阪神虎之介さん?」

阪神虎之介はホームベースの所へ行く。

その手にはバットが

i k k i

「まさか…」

阪神虎之介

「代打『オレ』」

アナウンス

「小説ウィテングス、バッターの交代を行います。バッター千歳涼

介に代わりまして、阪神虎之介」

応援団？（TH）

「よっしゃ来たぞぞぞ！！」

応援団？（TH）

「やっとなげる」

阪神虎之介

「よし！」

曾我部恵

（ちよろそう）

田井中律

（初球ナツクルでお願いします）

曾我部恵

（はいはい）

【ピシュ！】

ピッキー

（盗めた）

田井中律

（ゲ…盗塁！）

【バシィ！】

田井中律

「く……」

ランナー二塁

田井中律

(だったら)

【ピシュ！】

【ダツ！】

田井中律

(三盗も！)

【カキーン！】

田井中律

「あ！」

打球は1、2塁間を抜ける！

ピッキー

「よっしゃー！」

秋山澪が捕ってバツクホームするが

足の速いピッキーさんは悠々とホームイン

阪神虎之介



(よっしゃなんとか打てた)

そして

阪神虎之介

「タイム！」

アナウンス

「小説ウイテングス、バッターの交代を致します。八番scarletに代わりまして、ユーリ、ウイテングスのバッター、ユーリ」

ユーリ

「やっと打席に立てるぜ！」

【カキーン！】

曾我部恵

「ああ……」

センター前ヒット

続くジョー・ギブケンさんが倒れて一死1、2塁

アナウンス

「一番、ピッチャー、双樹槇」

双樹槇

「一番でピッチャー……」

曾我部恵

「一番でピッチャー…」

田井中律

(初球ナツクルで)

曾我部恵

(はい)

【ピシュ！】

【ユラ〜】

双樹槿

「くっ…」

【カキイ！】

シヨートの中野梓が捕り

中野梓

「セカアン！」

【バシィ！】

二出川墨審

「アウト！」

鈴木純

「はい！」

一塁送球

【バシィ！】

村田墨審

「アウト」

曾我部恵

「ふう〜」

阪神虎之介

「キャッチャーどごうしよ……」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】6回裏(後書き)

【6回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 — 8

【現在のスタメン】

? 双樹楨 投  
? 鷹峯瑛 (左)  
? 紀葉 (三)  
? ウルトラマンゼロ (遊)  
? しら (一)  
? ピツキー 打  
? 阪神虎之介 打  
? ユーリ 打  
? ジョー・ギブケン 右

【お詫び】

前話で守備交代の時、レフトとライトを間違いました。この場を借りてお詫びします。 m ( ) ( ) m

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】7回表（前書き）

明けましておめでとうございませう！

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】7回表

アナウンス

「小説ウイテングスの守備の訂正を致します。先ほど代わりました ikki に代わりましてライトの双樹樞がピッチャーに入ります。代わりましてジョー・ギブケンがライト、ウイテングスのピッチャー、双樹樞、ウイテングスのライトはジョー・ギブケン」

阪神虎之介

「ごめんなさい」

アナウンス

「小説ウイテングス、選手の交代致します。阪神虎之介がキャッチャー、ピッチャーがセンター、ユーリがセカンドに入ります。ウイテングスのキャッチャー、阪神虎之介。ウイテングスのセンター、ピッチャー。ウイテングスのセカンド、ユーリ。以上になります」

阪神虎之介

「キャッチャー俺しかおらんね」

ピッチャー

「別に俺、自分の作品でキャッチャーやってますけど」

阪神虎之介

「でもピッチャーさんは外野手でやりたいとおっしゃってますから自分が行いますよ」

ikki

「監督でキャッチャーってまるで野村克也や古田敦也だな」

阪神虎之介

「そつだな…」

双樹榎

「どうします?」

阪神虎之介

「双樹榎さんは右がオーバースローで左がスリークォーターですか」

双樹榎

「そうですね…」

阪神虎之介

「とりあえず左打者には左、右打者には右でお願いします」

双樹榎

「はい」

赤い風船の回収作業（7回表なので桜ヶ丘ティータイムのラッキー7でした。なので広島東洋カープの赤い風船が飛び交った。尚且つ今日は強風でバックホーム方面に吹いているので…）

紀葉

「三塁まで風船来た…」

アナウンス

「7回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、二番、ライト、秋山遼」

双樹榎

(阪神虎之介ってどんなリードなんだ?)

阪神虎之介

(ikkさんと違い、双樹櫃さんは140の速球があるから)

【ピシュ!】

秋山濤

「ひゃあ!」

【バシイ!】

内角ギリギリに威嚇

敷田主審

「ボール」

阪神虎之介

(お次は…)

【ピシュ!】

外角高めに直球

【バシイ!】

敷田主審

「ストライク!」

田井中律



「漣！しっかり見て！！」

秋山漣

「うん…」

阪神虎之介

（じゃあシメは！）

【ピシュ！】

秋山漣

「あ…」

【カキーン！】

しら

「当てただけじゃん」

村田墨審

「アウト！」

アナウンス

「三番、サード平沢憂」

阪神虎之介

（チームじゃ一番の巧打者だけに…）

双樹楨

（どっしります？）

阪神虎之介

(風は左から右に変わっているから)

【ピシュ!】

【カキーン!】

レフトへ高々と上がるフライだが

鷹峯

「スタンドインはしないな…!」

ピッキー

「打球が戻ってきてる…!」

そして

鷹峯

「ハイ!」

【パス】

小寺墨審

「アウト!」

田井中律

「スウ〜ハア〜!」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律!」

打てない四番打者の4打席目

阪神虎之介

（双樹槇さんの変化球はスライダー、カーブ、フォークにチェンジアップがある）

【ピシュ！】

【ピク】

【バシィ！】

敷田主審

「ストライク」

田井中律

（初球フォーク…）

阪神虎之介

（これで次は）

【ピシュ！】

田井中律

（カーブ…）

【バシィ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

田井中律

（となると次は…チェンジアップか？速球を見せ球にして）

阪神虎之介

（内角ギリギリに直球、ボールになってもいい）

双樹榎

（わかりました）

【ピシュ！】

田井中律

「あ！」

【バシ！】

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

卍！

阪神虎之介

「次はウチのラッキー7や！！！」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】7回表（後書き）

【7回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 — 8

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

i k k i - 双樹櫃ノセブンの独り言・阪神虎之介

アナウンス

「7回裏、小説ウイテングス、ラッキー7の攻撃です」

球場に千葉ロッテマリーンズの応援歌「We Love Marine  
s」が流れる。

「3…2…1…発射!!」

【ピシユ〜】

阪神虎之介

「ジェット風船はいいね」

「ファイテング!」「ファイテング!」

「絶対勝つぞ！ウイテングス！絶対勝つぞ！ウイテングス！絶対勝つぞ！ウイテングス！」

7回裏からはチャンステーマメドレーです。

順番は

・中日の「打って打って打ちまくれ！」のやつ（曲名知らないごめんなさい）

・狙い撃ち（中日）

・ビクトリー（中日）

・夏祭り（ヤクルト）

・ルパン三世ヤクルト

・チャンス襲来（阪神）

・チャンスわっしょい（阪神）

・ワッショイ（ソフトバンク）

・鷹の道ソフトバンク

・チャンステーマ？（千葉ロッテ）

・チャンステーマ？（千葉ロッテ）

・チャンステーマ？（千葉ロッテ）

・スキンヘッドランニング（千葉ロッテ）

阪神虎之介

「無駄に長い…」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】7回裏（前書き）

リーグ戦途中経過

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】（QVCマリソフイー  
ルド）

（7回表終了）

小 816 桜

【小説】

i k k i - 双樹榎

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵

【学園都市ゴールデンガールズ対マリオマリナース】（明治神宮野  
球場）

（6回裏終了）

学 114 マ

【学園都市】

佐天 - 絹旗

【マリオ】

ドンキー



【インデックス対亀有ポリスマンズ】（横浜スタジアム）

（7回裏終了）

イ 017 亀

【インデックス】

上条 - 建宮 - 五和

【亀有】

両津

【ポケットモンスターズ対ジャイアンズ】（わかさスタジアム京都）

（6回表途中）

ポ 0117 ジ

【ポケモン】

サトシ - レッド - ダイヤ - グリーン - イエロー

【ジャイアンズ】

剛田

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータイム】7回裏

アナウンス

「7回裏、小説ウィテングスの攻撃は二番、レフト、鷹峯瑛」

鷹峯瑛

「なんかスタンドの雰囲気が変わったな」

田井中律

（どうします？）

曾我部恵

（私は直球を投げたい）

【ピシュ！】

【バシイ！】

敷田主審

「ストライク」

鷹峯瑛

（これは、見送り）

田井中律

（では変化球お願いします）

【ピシュ！】

鷹峯瑛

「カッティング！」

【カキイ】

敷田主審

「ファールボール」

【ピー】アナウンス「ファールボールには充分お気をつけください」

阪神虎之介

「2点差かあ」

鷹峯瑛

「ふう〜」

曾我部恵

（ピッチャーって疲れるわ）

田井中律

（これお願いします）

【ピシユ！】

【ユラ〜】

鷹峯瑛

（ナツクル…）

【カキインー！】

三塁線を破る…

【バシィ！】

小寺墨審

「アウト！」

田井中律

「憂！」

平沢憂のダイビングキャッチで1アウト

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉

（そろそろ疲れが見え始めている）

曾我部恵は手で汗を拭ったりと疲労を隠せない。

紀葉

（それじゃ…）

【カキーン！】

紀葉

「楽にして差し上げますか」

ジャストミートで右中間へ…

斉藤薫

「オーライ、オーライ」

秋山澪

「あれ？」

打球はドンドンライトの方へ飛んでくる。

秋山澪

「斉藤さん私に任せて」

斉藤薫

「はい」

しかし

秋山澪

「フェンスギリギリ……」

打球は

秋山澪

「え〜い！」

秋山澪がジャンプ！

しかし打球はスタンドへ

「ワアアアアアアアアアアアア！」

紀葉

「やった！」

阪神虎之介

「おお！」

紀葉さんの1号本塁打

マウンドに全員集まる。

山中さわ子

「曾我部さんご苦労様」

曾我部恵

「はい」

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、守備交代をお知らせ致します。サードの平沢憂がピッチャー、ピッチャーの曾我部恵に代わり、立花姫花がサードに入ります。」

ピッキー

「憂がピッチャーですか」

阪神虎之介

「ある意味怖いですね」

ikkiki

「そういえば、回の途中途中でキャッチボールをしてましたね」

阪神虎之介

「肩は温まっているのか」

投球練習が終わり

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

ウルトラマンゼロ

「デユワ！」

阪神虎之介

「どんなボールだろ…」

【ピシュ！】

【バーン！】

153km

阪神虎之介

「はぁ？」

【バーン！】

【バーン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

卍！

その後も

【バーン！】

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」  
卍！

阪神虎之介

「最初からコイツ出せよ！」



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】7回裏(後書き)

【7回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 - 平沢憂 / 田井中律

【小説】

i k k i - 双樹榎 / セブンの独り言 - 阪神虎之介

【本墨打】

ウルトラマンゼロ(小説) ?

斉藤薫(桜ヶ丘) ?

紀葉(小説) ?

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】8回表

アナウンス

「8回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、5番、ファースト、琴吹  
紬」

阪神虎之介

「コイツもコイツで怖いんだよな」

双樹槿

（阪神虎之介さん、どうします？）

阪神虎之介

（パワーを裏手に取る、低めの速球）

【ピシュ！】

【バシ！】

敷田主審

「ボール」

阪神虎之介

（今のは入れてよ）

双樹槿

（今のは入れなきゃなあ…）

阪神虎之介

(低めにストライクからボールにフォーク)

双樹槿

(はい)

【ピシュ!】

双樹槿

「あ!」

【カキーン!】

双樹槿

「しまった!」

阪神虎之介

「失投か…」

要求とは全然違う高めの甘いボールだった。

ピッキー

「これは届くか…」

左中間に飛んだ打球はやっぱりセンターにスライスする。

ピッキー

「飛び込め!」

間に合わないと判断したピッキーさんはヘッドスライティングを試みるが

【ダン】

ピッキー

「わぁ！」

僅か3cm届かなかった。

しかもバックの鷹峯瑛さんが処理を誤りランナーは三塁へ

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

真鍋和

（スクイズ？）

山中さわ子

（1点を返す！）

阪神虎之介

（スクイズがある…、前進守備で）

紀葉

（はい）

しら

（来たたらホームで刺す）

ユーリ

（さあいい）

ウルトラマンゼロ

(三塁にカバー)

阪神虎之介

(高めに直球！打たれても外野が守る！)

双樹槇

(はい！)

【ピシュ！】

【ダツ！】

阪神虎之介

(よし！ランナー動いた！)

真鍋和

(く…)

【バシィ！】

琴吹紬

「！」

阪神虎之介

「うっし！」

ランナー琴吹紬は三塁に帰ろうとするが

阪神虎之介

「ハイ、アウト」

小寺墨審

「アウト！」

タッチアウト

真鍋和

（せっかくのチャンスが…）

阪神虎之介

（これで勢いはウチにある…、次のジャイアンズ戦に向けて勢いがつけられる）

双樹槿

（よっしゃ次は…）

阪神虎之介

（フオーク）

双樹槿

（はい）

真鍋和

（打たなきや）

【ピシュ！】

果敢にも打ちに行く！

真鍋和

(しまった！)

時遅し

【カキーン！】

双樹槿

(よっし！)

ピッチャーゴロで2アウト

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

鈴木純

「オツシヤアア！」

バットをブンブン回している。

阪神虎之介

(ブンブン回すなあゝ)

【ピシユ！】

【カキーン！】

真ん中あたりの直球

しかし

ピッキー

「ヤだな、この風の流れ」

【バシ】

二出川墨審

「アウト」

ピッキー

「次は私からか」



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】8回表（後書き）

【8回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 - 平沢憂 / 田井中律

【小説】

i k k i - 双樹榎 / セブンの独り言 - 阪神虎之介

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】 8回裏

「勝利はすぐそこに我が中日ドラゴンズ」

「中日ドラゴンズ」のドラゴンズマーチが流れた8回裏開始前

しら

「しかし何で応援歌の雰囲気が変わったのかな？」

阪神虎之介

「応援団が7回からチャンステーマメドレーやってるからだね」

しら

「なる程」

アナウンス

「8回裏、小説ウイテングスの攻撃は、六番、センター、ピッキー」

ピッキー

「150の速球ならしよっちゅう捕っている」

詳しくはピッキーさんの小説「プリキュアオールスターズ野球で  
真剣勝負！プリキュアドリームカップ」で

田井中律

(こつこつ実績のある選手は怖い)

平沢憂

(どっこします?)

田井中律

(様子見ましよう)

【ピシユ】

【バーン！】

敷田主審

「ボール」

150km

ピッキー

「やっぱり速い……」

平沢憂

「はい！」

【ピシユ！】

【バーン！】

敷田主審

「ストライク」

阪神虎之介

「本当に女子高生かよ」

ピッキー

(まさかコイツ)

【ピシュー!】

ピッキー

(ストレートしか無い?)

【カキーン!】

ジャストミート

打球はセンター方向に…

斉藤薫

「オーライ」

と思いきや

斉藤薫

「ああ!」

落球

ピッキー

「ウエイ!」

アナウンス

「七番、キャッチャー、阪神虎之介」

阪神虎之介

「リードしてるからどうしようかな?」

ピッキー

(阪神さん送りバント送りバント)

阪神虎之介

(ヤダ)

ピッキー

(……………)

阪神虎之介はバットを短く持った。

ピッキー

(やってみる)

【ピシュ!】

【カキイ!】

打球はセンター前へ

アナウンス

「八番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「150は速すぎる…」

平沢憂

(ここで止めなきゃ…)

田井中律

(頼みますよ)

【ピシユ!】

【バーン!】

敷田主審

「ストライク」

ユーリ

「はっや…」

平沢憂

「ふう…」

【ピシユ!】

【コン…】

田井中律

「セーフティー?」

ユーリ

「ハハハ」

しかし憂が

平沢憂

「サード！」

【バシ！】

立花姫花

「はい」

小寺墨審

「アウト」

一死1、2塁

アナウンス

「九番、ライト、ジョー・ギブケン」

ジョー・ギブケン

(監督が二塁にいるんですけど)

【ピシュ！】

ジョー・ギブケン

「うお！」

【ガギイ…】

キャッチした平沢憂から中野梓にボールが渡り

二出川墨審

「アウト」

中野梓から琴吹紬にボールが渡る

村田墨審

「アウト」

阪神虎之介

「最初から先発憂にしたら？」

山中さわ子

「3点差か……」



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータイム】8回裏（後書き）

【8回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 0 — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 - 平沢憂 / 田井中律

【小説】

i k k i - 双樹榎 / セブンの独り言 - 阪神虎之介

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】9回表

アナウンス

「小説ウイテングス、守備交代を行います。ファーストしらに代わりまして、上原大人、ウイテングスのファースト、上原大人」

しら

「頑張れ」

上原大人

「はい」

阪神虎之介

「このまま勝ったらヒーローですよ」

しら

「そうか！」

アナウンス

「9回表、桜ヶ丘ティータムの攻撃は、八番、センター、斉藤薫」

・  
・  
・  
・  
・

阪神虎之介

「参ったな……」

現在、無死満塁

3点差の余裕から双樹榎さんは連打を浴びてしまった。

二番秋山澗はプレッシャーに弱いからいいとして問題は二番平沢憂である。

阪神虎之介

「投手交代をしよう」

双樹榎

「いるの？」

阪神虎之介

「オレ」

双樹榎

「はあ？」

紀葉

「虎之介さんですか？」

阪神虎之介

「だって人数少ないから」

上原大人

「まあ、仕方ないですよ」

ユーリ

「キャッチャーは誰ですか？」

阪神虎之介

「経験者のピッキーさんで」

ピッキー

「？」

阪神虎之介

「それでもキャッチャーをやるんで150は出せますよ……、一応……」

紀葉

「ならどうぞ」

双樹榎

「と言うよりベンチに確か人が残っていましたよね？」

阪神虎之介

「ああ、次の先発の秘密兵器の桜井秀哉さん？」

双樹榎

「先発なの？」

阪神虎之介

「だからちよっとお休み、ここで崩したら困るし」

紀葉

「次の試合は3日後ですからね」

阪神虎之介

「じゃそうゆう事で」

アナウンス

「小説ウィテングス、守備交代を行います。キャッチャーの阪神虎之介がピッチャー、センターのピッキーがキャッチャー、ピッチャーの双樹槇がセンター、以上に代わります」

ピッキー

「ここに来てキャッチャーですか…」

阪神虎之介

「本人（実際）は全然ダメだけどね150でやしない、良くて60の肩だし、現実はね」

ピッキー

「愚痴こくな、球種は？」

阪神虎之介

「藤川と同じくカーブとフォーク」

ピッキー

「わかりました」

阪神虎之介

「（作者の本名）だったら終わってたねw」

ピッキー

「止めなさい」

アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

秋山澪

「ヒイイ」

阪神虎之介

（まだビビってる）

ピッキー

（それじゃど真ん中に）

【ピシュ！】

【バン！】

敷田主審

「ストライク」

i k k i

「フォームが数年前の藤川球児だ」

阪神虎之介

（他にも…）

【ガバア！】

【ピシュ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

阪神虎之介

（入団間もない頃の松坂大輔のフォームの真似もできます）

ただ単に作者がモデルにしてるから採用。だって綺麗だもん！

ピッキー

（わお）

【ピシユ！】

【バン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウト！」

卍！

アナウンス

「三番、ピッチャー、平沢憂」

ピッキー

（この試合の山場だ…）

阪神虎之介

（ピッキーさんどうします？）

ピッキー

（変化球で様子見ましょう）

【ピシユー！】

【バン！】

敷田主審

「ストライク」

ピッキー

（カーブだ、二球目はフォークで）

【ピシユ！】

【カキイ】

小寺墨審

「ファール！」

大声援が聞こえる

「かせかせ憂！」【パーパッパパー】「かせかせ憂！」

阪神虎之介

「ふう…」

ピッキー

（トドメは直球！）

【ピシユ！】

【ガギイ！】



敷田主審

「ファールボール」

ピッキー

「どうだ、150は速いだろ？」

平沢憂

「そうですね」

阪神虎之介

「ふう…」

ピッキー

（一球外せ）

阪神虎之介

（はい）

【ピシユ！】

【バン！】

敷田主審

「ボール」

B

S

O

風が穏やかになってきた。

阪神虎之介

（大一番だな…）

ピッキー

（直球）

阪神虎之介

（はい）

【ピシュ！】

【カキーン！】

阪神虎之介

「ゲツ…」

しかし

小寺墨審

「ファール」

阪神虎之介

「ホ…」

ピッキー

（ラストはフォークで落としましょう）

阪神虎之介

（そうですね）

平沢憂

（次は変化球が来る！）

【ピシュ！】

平沢憂

（フォーク…）

【バン！】

敷田主審

「…ボール」

ピッキー

「え？」

阪神虎之介

「ストライクだな今のは、まあいいや」

ピッキー

（高めの直球）

阪神虎之介

（待ってましたあ！）

【ピシュ！】

平沢憂

(高め！)

【ブーン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウト！」

卍！

【ダダン！】 「あと1人！」 【ダダン！】 「あと1人！」

ライトスタンドから「あと1人」コールが始まった。

阪神虎之介

「いつもなら俺は『きゅーじ！』って叫ぶけど」

ピッキー

(打たせる、変化球)

阪神虎之介

(はい)

【ピシュ！】

【カキーン！】

打ち上げた。

阪神虎之介

「サード！」

紀葉さんがキャッチ！

小寺墨審

「アウト！ゲームセット！」

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】9回表（後書き）

【試合終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 0 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 0 X — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曾我部恵 - 平沢憂 / 田井中律

【小説】

i k k i - 双樹楨 - 阪神虎之介 / セブンの独り言 - 阪神虎之介 - ピ  
ツキー

【勝利投手】

i k k i (1勝)

【セーブ投手】

阪神虎之介 (1S)

【敗戦投手】

平沢唯 (1敗)

【桜ヶ丘本塁打】

斉藤薫?

【小説本塁打】

ウルトラマンゼロ?

紀葉？

【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】試合終了その後（前書き）

試合結果（短縮に）

【学園都市】 215 【マリオ】

【インデックス】 019 【亀有】

【ポケモン】 319 【ジャイアンズ】



【小説ウイテングス対桜ヶ丘ティータム】試合終了その後

アナウンサー

「放送席！放送席！ヒーローインタビューです！今日のヒーローはこの人！先制3ベースヒットを放ったしら選手です！」

しら

「ありがとうございます」

阪神虎之介

「しらさんがヒーローだ」

ikki

「まあ次もとはいかないと思うけど」

ピッキー

「とりあえずお疲れさまでした！」

ヒーローインタビュー終了後

阪神虎之介

「次の対戦相手の『ジャイアンズ』ですが……」

ウルトラマンゼロ

「ですが？」

阪神虎之介

「今日の試合、まだ8回裏で19ー3です」

ピッキー

「ゲエ」

紀葉

「途中経過見たけど悲惨だったよ」

しら

「ヤバいなあ」

阪神虎之介

「それでは一応今のところの先発メンバーを発表致します」

? ユーリ (二)

? 双樹槇 (中)

? 紀葉 (三)

? ウルトラマンゼロ (遊)

? しら (一)

? ピッキー (左)

? セブンの独り言 (捕)

? 千歳涼介 (右)

? 桜井秀哉 (投)

阪神虎之介

「とりあえずのスタメンです」

i k k i

「俺は？」

阪神虎之介

「その次の試合の先発です」

i k k i

「わかりました」

阪神虎之介

「それでは3日後、場所は西武ドームです」

ピッキー

「アウエイか」

阪神虎之介

「頑張りましょう!」

「オー!!」

【小説ウィテングス対桜ヶ丘ティータム】試合終了その後（後書き）

次は西武ドームでの【ジャイアンズ対小説ウィテングス】です。

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】試合開始前（前書き）

グッドウィルドームで試合です

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】試合開始前

阪神虎之介

「西武ドーム！」

しら

「来ましたね」

阪神虎之介

「ブルペンが丸見えだ！」

ピッキー

「ここはベンチ逆なんですネ」

阪神虎之介

「だから俺らは一塁側」

紀葉

「ジャイアンズ叩くぞ！」

しら

「……………」

紀葉

「どっつしましたしらさん？」

しら

「いや…今打撃練習してるのって…」

【カキイン！】

ドラえもん

「ナイスバツティング！」

阪神虎之介

「クロえもん…？」

しら

「そしてブルペンにいるのって…」

【バーン！】

ブルペンキャッチャー

「ナイスボール！」

阪神虎之介

「さとし…？」

i k k i

「何でドラベースのキャラがいるんだ？」

ピッキー

「まさかシロえもんとかいないだろ〜な〜」

阪神虎之介はベンチから飛び出してドラえもんに聞いた。

阪神虎之介

「まさかシロえもんまでいるのか？」

ドラえもん

「さすがにいませんよ」

阪神虎之介

「それと秘密道具は使つなよ、1回でも使ったら退場だからな」

ドラえもん

「わかってますよ」

阪神虎之介

「それじゃ」

そして

紀葉

「打撃練習の時間だ！」

しら

「打つぞ！」

そして…

アナウンス

「両チームの監督はバックネットまで来てください」

阪神虎之介

「それでは」



剛田武

「行ってくるわ」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】試合開始前（後書き）

何やってんだオレ…

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】スタメン発表（前書き）

連続投稿！

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】スタメン発表

アナウンス

「お待たせしました、リーグ戦ジャイアンズ対小説ウイテングスのスターティングメンバー及びアンパイアをお知らせ致します。まず先攻の小説ウイテングス、一番、セカンド、ユーリ」

【ダダン】「ユーリ！」【ダダン】「ユーリ！」【ダダン】「ユーリ！」

アナウンス

「二番、センター、双樹樞」

【ダダン】「ふーたーき！」【ダダン】「ふーたーき！」【ダダン】「ふーたーき！」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

【ダダン】「のーりーは！」【ダダン】「のーりーは！」【ダダン】「のーりーは！」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ」

【ダダンダン】「ゼロ！」【ダダンダン】「ゼロ！」【ダダンダン】「ゼロ！」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

【ダダン】「しーら!」「ダダン】「しーら!」「ダダン】「しーら!」

アナウンス

「六番、レフト、ピッキー」

【ダダン】「ピッキー!」「ダダン】「ピッキー!」「ダダン】「ピッキー!」

アナウンス

「七番、キャッチャー、セブンの独り言」

【ダダンダン】「セブン!」「ダダンダン】「セブン!」「ダダンダン】「セブン!」

アナウンス

「八番、ライト、千歳涼介」

【ダダン】「ち、と、せ!」「ダダン】「ち、と、せ!」「ダダン】「ち、と、せ!」

アナウンス

「九番、ピッチャー、桜井秀哉」

【ダダン】「さ、く、ら、い!」「ダダン】「さ、く、ら、い!」  
【ダダン】「さ、く、ら、い!」

アナウンス

「続きまして、後攻のジャイアンズ、一番、ショート」

スネ夫

『骨川スネ夫です』

【パララ〜】「そ〜れ、ス、ネ、夫」

アナウンス

「二番、ライト」

出木杉

『出木杉です』

【パララ〜】「そ〜れ、出木杉」

アナウンス

「三番、サード」

クロえもん

『クロえもんです』

【パララ〜】「そ〜れ、ク〜ロ」

アナウンス

「四番、キャッチャー」

剛田武

『剛田武です』

【パララ〜】「そ〜れ、ジャイアン！」

アナウンス

「五番、ファースト」

源静香

『源静香です』

【パララ〜】「そ〜れ、し、ず、か」

アナウンス

「六番、セカンド」

ノビスケ

『野比ノビスケです』

【パララ〜】「そ〜れノビスケ！」

アナウンス

「七番、センター」

安雄

『安雄です』

【パララ〜】「そ〜れ、や、す、お！」

アナウンス

「八番、ライト」

はる夫

『はる夫です』

【パララク】「それ、はる、夫」

アナウンス

「九番、ピッチャー」

さとし

『さとしです』

【パララク】「それ、さとし！」

ikk i

「すげえなあっちのスタメン発表」

阪神虎之介

「いきなり選手が出てきて自己紹介だもんな」

アナウンス

「主審小寺、塁審、一塁西本、二塁栄村、三塁石山、公式記録員は藤原、試合開始までしばらくお待ちください」

阪神虎之介

「全員、プロ野球の審判です」



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】スタメン発表（後書き）

次回から試合開始

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】1回表

アナウンス

「1回表、小説ウイテングスの攻撃は一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「こいやあ!!」

さとし

(初球ストレート)

ジャイアン

(はいよ)

【ピシュ!】

【バァーン!】

ユーリ

小寺主審

「ストライク」

コデライク

ユーリ

「はえ…」

阪神虎之介

「今の150出てたぞ…」

ikki

「ドープングしてるだろ…」

さとし

(二球目…)

【ピシュ！】

【バァーン！】

小寺主審

「ストライクツウ！」

コデライク

阪神虎之介

「しかもキレがある」

さとし

(三球目…)

【ピシュ！】

【バァーン！】

小寺主審

「ストライクバッターアウト！」

コデライク

ユーリ

「……………」

双樹榎

「どんな球でしたか？」

ユーリ

「バット短く持った方がいいです」

アナウンス

「二番、センター、双樹榎」

双樹榎

「バットを短くか……」

【ピシュ！】

双樹榎

「おわ！」

【バアーン！】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

双樹榎

(ホップしてる、厄介だ)

【ピシユ!】

双樹榎

「うらぁ!」

【ガギイ】

小寺主審

「ファールボール」

双樹榎

「いった…」

紀葉

「うわ、重そう」

双樹榎

「アイツ本当に小学生?」

【ピシユ!】

双樹榎

「!フォーク…」

【バシイ!】

小寺主審

「ストライクバッターアウト!」

コデライク

阪神虎之介

「うわ…」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉

「打てる気がしない…」

さとこ

「あらよつと」

【ピシユー！】

【バァーン！】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

紀葉

「（；；）」

【ピシユー！】

【バーン！】

小寺主審

「ストライクツウ」

コデライク

紀葉

「（；；）」

阪神虎之介

「なんかヤバいなあ…」

紀葉

「バット短く持つか」

【ピシュ！】

【カキイ】

三塁後方へ

石山墨審

「ファールボール」

紀葉

「当てた…」

【ピシュ！】

紀葉

「ゲエ！フオーク」

【ブウン！】

小寺主審

「ストトライクバッターアウト！」

コデライク

阪神虎之介

「ヤバいなあ…三三振…」



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】1回裏

桜井秀哉

「よろしくお願いします」

セブンの独り言

「変化球がかなりあるから、それ主体に行くぞ」

桜井秀哉

「はい」

阪神虎之介

「ジャイアンズって速球にはかなり強いから気をつけて」

ピッキー

「嫌なチームだな」

アナウンス

「1回裏、ジャイアンズの攻撃は、一番、ショート、スネ夫」

スネ夫

「さして、先頭打者ホームランでも」

セブンの独り言

（内角のスライダー）

桜井秀哉

（はい）

【ピシユ！】

スネ夫

「わぁ！」

【バァーン！】

スネ夫

「マ〜マ」

ドラえもん

「この前のチームと違い、要注意選手が何人もいるぞ」

剛田武

「そうだな」

【ピシユ！】

スネ夫

（フオーク…）

【カキイ】

紀葉

「そ〜れ」

一塁送球

【バシィ！】

西村墨審

「アウト」

しら

「お疲れ」

アナウンス

「二番、ライト、出木杉」

出木杉

「ハハハ」

セブンの独り言

(今のムカついた、内角にストレート)

桜井秀哉

(はい)

【ピシュ！】

【バアーン！】

155km

出木杉

「……………」

セブンの独り言

「ナメんな」

出木杉

(短く持とう…)

【ピシユ!】

【ガギン】

小寺主審

「ファールボール」

セブンの独り言

(決め球はコレ)

桜井秀哉

(はい)

【ピシユ】

【ユラー】

出木杉

(ナツクル!?)

【ブウン!】

小寺主審

「ストライクバッターアウト!」

コデライク

ドラえもん

「アイツ色んな変化球があるんだな」

セブンの独り言

(さて…)

アナウンス

「三番、サード、クロえもん」

セブンの独り言

(コイツだよ)

桜井秀哉

(クロえもん…)

クロえもん

「こい…」

セブンの独り言

(初球様子を見るぞ…)

桜井秀哉

(はい)

【ピシユー！】

【バアーン】

小寺主審

「ボール」

セブンの独り言

(次はストライクからボールになるフォーク)

【ピシュ!】

【カキイ!】

桜井秀哉

「いつた?」

セブンの独り言

「大丈夫、ボールだからスタンドまではいかない!」

しかしボールはドンドンレフトへ

セブンの独り言

「嘘だろ...」

【バシ】

ピッキー

「間に合った!」

石山墨審

「アウト」

「ワアアアアア!」

ライトスタンドから声援が聞こえる。

(西武ライオンズはホームと

アウェイのベンチを逆にしてるのでそれを真似した)

【ダダン！】「ピッキー！」【ダダン！】「ピッキー！」【ダダン  
！】「ピッキー！」

セブンの独り言

「しかし、あれであそこまで行くなら次考えておかないと」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】1回裏（後書き）

【1回裏終了】

小説 0—0

ジャイ 0—0

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武



## 【ジャイアンズ対小説ウイテングス】2回表

阪神虎之介

「初回3三振だから次は3本塁打をお願いします」

ピッキー

「無理」

アナウンス

「2回表、小説ウイテングスの攻撃は四番、ショート、ウルトラマンゼロ」

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

剛田武

（主砲ですから注意を払って）

さとし

（いえ、大丈夫です）

【ピシュ！】

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

【ガギイ】

打球はクロえもん所へ

クロえもん

「あらよつと」

【バシィ！】

西本塁審

「アウト」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

「しらさあん！」

「頼むぞ〜！」

前試合からしらさんの所にはファンが殺到している。

ファンレターも貰っている。

一部は

「マリーンズに入ってください」とかだけど…

しら

「バットを短く持とう」

剛田武

（それでは）

えとっ

(はい)

しら

(まずはタイミング合わせのスイングだ)

【ピシユ】

【カキーン！】

しら

「え？」

剛田武

「あ？」

さとし

「え…？」

高めのちよつとしたボール球にフルスイングした打球はジャストミート、そして…

はる夫

「マジかよ…！」

スタンドイン

「ワアアアアア！！」

しら

「オッシャアア！」

阪神虎之介

「マジかぁ!!」

紀葉

「すげー」

ピッキー

「タイミングが合ったのと、さとしが緩いボール、所謂失投したからか」

しら

「ピッキーさん!!」

ピッキー

「はい!!」

ホームインしたしらはさんはピッキーさんとハイタッチ

阪神虎之介

「勢いが出てきた」

i k k i

「クロえもんを抑えたのが効きましたね」

アナウンス

「六番、レフト、ピッキー」

ピッキー

「よぉし!!」

さとし

(くっそあゝ)

【ピシュ！】

【カキーン！】

さとし

「！」

スネ夫

「ゴハア！」

鋭い打球がスネ夫の腹を直撃。

結果はヒット

クロえもん

「スネ夫、大丈夫か？」

スネ夫

「はい」

アナウンス

「七番、キャッチャー、セブンの独り言」

阪神虎之介

「連打は怖いよ……」

作者は連打の怖さをつくづく感じた事がある。

2011年8月14日のヤクルト対阪神戦

9回表終了1-8で阪神がリードしていたのに…

9回裏のヤクルトが6点を取りギリギリ7-8で勝った試合。

怖かった。

セブンの独り言

「連打で行こう」

しかし…

【ブーン！】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

コデライク

セブンの独り言

「はぁ…」

続く八幡千歳涼介さんも倒れ、この回1点止まり

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】2回表（後書き）

【2回表終了】

小説 01—1

ジャイ 0—0

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本墨打】

しら1号？

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】2回裏（前書き）

【告知】

前半戦終了後、「作者vsアニメオールスター」を開催します。

「アニメオールスターチーム」はファン投票で決めさせていただきます。

別の短編という形で投票所を設けますのでよろしくお願いします。

それと、この試合終了後、新人団選手発表が行われ、各チームに助っ人と新人団選手が発表されます。



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】2回裏

三塁ブルペンでひろしがピッチング練習を行う。

【バシィ！】

ドラえもん

「ナイスボール」

アナウンス

「2回裏、ジャイアンズの攻撃は、四番、キャッチャー、剛田武」

剛田武

「すぐ取り返す！」

桜井秀哉

「ふん」

【ピシユ！】

剛田武

「ファンガア！」

【カキイン】

紀葉

「わ！」

【バシィ！】

石山墨審

「アウト！」

剛田武

「畜生」

アナウンス

「五番、ファースト、源静香」

源静香

「打つたるわいボケエ！」

セブンの独り言

「口悪！」

【ピシユ！】

【カキイン！】

セブンの独り言

「それであ…」

バックスクリーン直撃弾

桜井秀哉

「ぐ…」

セブンの独り言

「同点かあ…」

源静香がホームイン！

セブンの独り言

「打力が凄いなあ……」

アナウンス

「六番、セカンド、ノビスケ」

ノビスケ

「続こう」

【ピシュ！】

ノビスケ

「のあ！」

【ガギイ】

桜井秀哉

「オーライ」

【パシ】

小寺主審

「アウト」

続く安雄も凡退した。

安雄

「省略されたー!ー!」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

小説 01 — 1

ジャイ 01 — 1

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本塁打】

しら1号？

【ジャイアンズ本塁打】

源静香3号？

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】3回表（前書き）

（記者席）

記者？

「どじっ？試合は？」

記者？

「1 - 1の同点です」

記者？

「やっぱりこの前みたいには行かないか？」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 3回表

アナウンス

「3回表、小説ウイテングスの攻撃は、九番、ピッチャー、桜井秀哉」

桜井秀哉

「さとして誰だよ、ドラベースの投手はひろしだろ」

剛田武

「素で作者が間違えたのを隠蔽したんですよ」

桜井秀哉

「なるほど」

【ピシュ！】

【バァーン！】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

桜井秀哉

「はええ……」

【ピシュ！】

【カキイ】

ボールは三塁スタンドへ

アナウンス

「ファールボールには充分お気をつけください」

桜井秀哉

「ふう…」

剛田武

(一球ボールで)

【ピシユ】

【バアーン】

小寺主審

「ボール」

剛田武

(では決めますか)

【ピシユ!】

桜井秀哉

「フォーク!」

【ブウン】



小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

コデライク

アナウンス

「一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「2打席連続は避けたい…」

【ピシュ！】

ユーリ

「く…」

【カキイ】

ユーリ

「畜生！」

打球はクロえもんの所へ行き送球

西本塁審

「アウト」

アナウンス

「二番、センター、双樹槇」

双樹槇

「バットは短く」

ちとじ

(心はデカく)

【ピシユ】

【カキイン】

【パシ】

【ビユ】

西本墨審

「アウト」

シヨートロロ

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 3回裏

アナウンス

「3回裏、ジャイアンズの攻撃は、八番、レフト、はる夫」

はる夫

「（怒）（怒）（怒）（怒）」

スタメン発表で守備位置間違えられた事にキレてるはる夫くん

【ピシュ】

はる夫

「オラア！」

【カキイン】

【バシイ！】

紀葉

「捕ったぞ」

石山墨審

「アウト！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、さとし」

さとし

「ひろしの親戚です」

ikki

「急な設定だな」

セブンの独り言

(初球チェンジアップで)

桜井秀哉

(初球に?)

【ピシュ!】

【フワ】

さとし

(チェンジアップ!)

【パシ】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

さとし

「初球緩い球で来たか」

セブンの独り言

「悪いか」

さとし

「別に」

セブンの独り言

（次は速球）

桜井秀哉

（はい）

【ピシュ】

さとし

（緩い球の後に速球が来るのは分かってんだよ！）

【カキーン！】

桜井秀哉

「なに！」

さとしは高々とバットを上げてゆっくりと走り出した。

ピッキー

「あゝあ…」

「ワァァア…！」

阪神虎之介

「チツ」

ホームラン

小説 1 - 2 ジャイ

アナウンス

「一番、シヨート、スネ夫」

スネ夫

「この辺で僕も」

【カキイン】

スネ夫

「ホームラン！」

【パシ】

栄村墨審

「アウト」

セカンドフライ

アナウンス

「二番、ライト、出木杉」

出木杉

「天才出木杉のおでした！」

セブンの独り言

（自分の事を『天才』っていうのは引くわ……）

【ピシュ！】

出木杉

「それ！」

【カキーン！】

【バシィ！】

小寺主審

「アウト」

ピッチャーライナーに抑えた。

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 3回裏（後書き）

【3回裏終了】

小説 010 — 1

ジャイ 011 — 2



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】4回表（前書き）

プロ野球のある応援団が登場！

【ジャイアンズ対小説ウィテングス】4回表

（ライトスタンド）

応援団（CD）

「あのすいません」

応援団（TH）

「何ですか？」

応援団（CD）

「阪神の応援団ですよね？」

応援団（TH）

「昔な」

応援団（CD）

「昔？」

応援団（TH）

「そう、中虎連合なんだ」

応援団（CD）

「中虎連合？」

応援団（TH）

「2004年までな」

応援団（CD）

「へえ」

応援団（TH）

「で、一時的に復活したわけだ」

応援団（CD）

「そつなんですか」

応援団（TH）

「まあよろしく」

応援団（あ、はい）

今回は諸事情により福岡ソフトバンクホークスの応援団が来ていない。

応援団（TH）

「それ！」

「絶対勝つぞ！ウイテングス！絶対勝つぞ！ウイテングス！絶対勝つぞ！ウイテングス！」

紀葉

「わあ何だ！」

しら

「凄い応援旗の数」

阪神虎之介

「中虎だあ」（泣）

ピッキー

「中トラ？」

阪神虎之介

「トラックじゃないから、昔の阪神の応援団」

ピッキー

「ああ」

阪神虎之介

「凄かったなあ」

ピッキー

「確かに凄そう」

アナウンス

「4回表、小説ウィテングスの攻撃は、三番、サード、紀葉」

「「かっせ！かっせ！かっせ！紀葉！」かっせ！かっせ！かっせ！

紀葉！」

紀葉

「凄い声援だなあ」

応援団（TH）

「今回のみ紀葉さんの応援歌は岡田の曲になります！』今日は！』」

「おお〜！」

岡田彰布（オリックス監督）の応援歌は同じみの「コンバットマーチ」を使ったものである。

「ホームラン、ホームラン、ワッショイワッショイ！ホームラン、ホームラン、ワッショイワッショイ！ホームラン！ホームラン！場外！場外！ホームラン！かつ飛ばせ！紀葉！」

阪神虎之介

「やっぱり阪神っていたらこれだろ（笑）」

紀葉

（集中！集中！）

さとし

（うるさいなあ…）

「ホームラン！ホームラン！場外！場外！ホームラン！」

鳴り止まない

【ピシュ！】

【カキーン！】

さとし

「あ！しまった！」

三塁線突き抜けるヒット

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

さとし

「気合い入れ直す！」

ウルトラマンゼロ

「やってみろ」

【ピシユー！】

156km

ウルトラマンゼロ

「本当に小学生か？」

剛田武

(低めに直球)

【ピシユー！】

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

【カキインー！】

さとし

「シヨートー！」

スネ夫  
「ギャ！」

打球を捌こうとしたスネ夫は処理を誤り、外野に

無死1、2塁

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「やったる！」

剛田武

（チャンスに強いからなあ〜）

さとし

（嫌なバッターだ）

さとしは前打席のホームランが横切った。

【ピシュ！】

しら

（ボール！）

【バシィ！】

小寺主審

「ボール」

しら

(よし)

【ピシュ！】

【カキーン！】

阪神虎之介

「よっしゃあ！」

打球はライトの方向へ

ドラえもん

「マジ？」

ライトの出木杉がフェンスにへばりつく…

打球とフェンスを確認して…

【ガシィ！】

しら

「え？」

【バシィ！】

しら



「うそ！」

フェンスによじ登った出木杉がボールをキャッチ。

西本塁審

「アウト！」

紀葉

「ゴ—！」

「もしや…」と思った紀葉さんは二塁まで戻った後、キャッチしたのを確認してタッチアップ！

出木杉

「ファースト！」

しかし狙われたのは一塁だった。

ウルトラマンゼロ

「デュワ！？」

慌てて二塁付近から一塁に戻るウルトラマンゼロ

【バシィ！】

源静香

「タッチ！」

西本塁審

「アウト！」

二死三塁

アナウンス

「六番、レフト、ピッチャー」

ピッチャー

「三塁ランナーは絶対返す」

さとし

「はあ〜」

中虎連合会指揮のもと、チャンステーマが行われる。

ただ中虎連合のチャンテは先程紀葉さんの時と同じ「コンバットマーチ」である。

ピッチャー

(剛田の配球を見ると速球中心で組み立てている)

剛田武

(さとし、ストレート)

【ピシユ!】

【バシィ!】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

ピッキー

(やっぱり俺に対しても速球か?)

剛田武

(次はフォーク)

さとし

(はい)

【ピシュ!】

ピッキー

(とりあえず見送る)

【バシィ!】

小寺主審

「ボール」

ピッキー

(これは見せ球か?)

剛田武

(ストレート)

さとし

(はい)

【ピシユ！】

ピッキー

(！)

【バシィ！】

小寺主審

「ストライクツウ」

ピッキー

(やっぱり見せ球か？)

剛田武

(最後はこれで決めるぞ)

さとし

(はい)

【ピシユ】

ピッキー

(緩いストレート…ナメるな！)

ピッキーさんはストレートだと思って振りにいくが

【フワ…】

ピッキー

(しまった！)

【ブーン！】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

コデライク

ピッキー

「チェンジアップだと……」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】4回表（後書き）

【4回表終了】

小説 0100—1

ジャイ 011—2

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本塁打】

しら1号？

【ジャイアンズ本塁打】

源静香3号？

さとし1号？

【ジャイアンズ対小説ウィテングス】4回裏

くネクストバッターズサークルく

【コン、コン】

クロえもん

「ふう…」

アナウンス

「4回裏、ジャイアンズの攻撃は、3番、サード、クロえもん」

桜井秀哉

「うわあ…」

セブンの独り言

(こいつはどつしょう…)

桜井秀哉

(どつしょうもない)

セブンの独り言

(低めにフォーク)

【ピシユ！】

クロえもん

「捕らえたあ！」

【カキーン！】

桜井秀哉

（ゲ！）

打球はライナーでセンター双樹槇のグラブへ

栄村墨審

「アウト！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、剛田武」

セブンの独り言

（力で押し切るバッターは緩いボールで）

桜井秀哉

（はい）

【ピシュ！】

剛田武

（ぬおお！）

【ガギイ！】

打球は頭上高く上がった。

セブンの独り言



「おーらい！」

【バシィ！】

小寺主審

「アウト！」

アナウンス

「五番、ファースト、源静香」

セブンの独り言

（嫌なバッターが続く…）

阪神虎之介

「破壊力満点だな随分と」

セブンの独り言

（……………どうしよっかあ）

桜井秀哉

（高めにフォーク）

セブンの独り言

（それでいく？）

桜井秀哉

（はい）

【ピシユー！】

源静香

「高めは私の絶好球」

【カキイ！】

源静香

「ああ畜生フオークだコンニャロ！」

セブンの独り言

「ホント、口悪」

ピッチャーゴロ

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】4回裏（後書き）

【4回裏終了】

小説 0100—1

ジャイ 0110—2

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】5回表

アナウンス

「5回表、小説ウイテングスの攻撃は、七番、キャッチャー、セブンの独り言」

セブンの独り言

（150の速球にフォーク、そしてさっき見せたチェンジアップ、厄介な相手だ）

剛田武

（初球は外角にストレート）

【ピシュ！】

【バアーン！】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

セブンの独り言

「え？入っているの？」

小寺主審

「そうだ」

セブンの独り言

「へえ、あれが…」

小寺主審

「ぐ…」

セブンの独り言

(まあ今は正直、どっちだっていいけどね)

剛田武

(さっきとほぼ同じやん)

さとし

(わかった)

【ピシュ！】

【バアーン！】

小寺主審

「ボール」

剛田武

「……！」

セブンの独り言

(しめた)

阪神虎之介

(よくやった)

何やったと言えば、さっきの判定でセブンの独り言さんは「え？入

っているの?」「といちゃもんを付けた時、審判に「え?自分が間違っているの?」と思わせた。

例え野球が他のスポーツよりも審判が神格化されたスポーツとは言え、審判も人である。

剛田武

(さっきのでストライクゾーンが狭まったし…、コイツマジないわ) 心の中で言っているから良いけど、間違っって言つもんなら退場モンの発言である。(審判に「バカ」って言ったら退場です)

さとし

(じゃあ、少し真ん中に投げます)

【ピシュー!】

セブンの独り言

( )

【カキーン!】

打球はセンター前に

阪神虎之介

(今回は慎重に生かせて貰います)

阪神虎之介は千歳涼介さんにサインを送る

千歳涼介

(流せ? エンドラン?)

ピッキー

(それどころが慎重だよ)

剛田武

(恐らく1点を獲るために送りバントをしてくるはずだ、高めに持  
って来い)

さとし

(はい)

【ピシュー!】

千歳涼介

(それ!)

【カキーン!】

剛田武

「あ?」

さとし

「エンドラン!?!」

「送りバント」と予測した内野陣、源静香と野比ノビスケの間を抜  
ける

源静香

「こん畜生があ!」

阪神虎之介

「うわ〜、こえ〜」

一塁ランナーは三塁へ

アナウンス

「9番、ピッチャー、桜井秀哉」

桜井秀哉

（スクイズ？）

阪神虎之介

（それはあちらさんも読んでる）

現に三塁クロえもんが前進している状況だ。

阪神虎之介

（桜井さん…）

阪神虎之介があるサインを出す。

桜井秀哉

（あ、それですか…）

剛田武

（絶対スクイズしてくる）

そう思った矢先



【ピシュ！】

【ダッ！】

剛田武

「！！？」

一塁ランナー千歳涼介さんが盗塁

内野陣が前進守備しているため、投げても間に合わない。

無死2、3塁である。

もし、こいつが八番打者でこの状況だったら敬遠だったけど、今ネクストバッターズサークルにいるのはユーリさんである。

剛田武

(1点を犠牲にしたくは無いな)

さとし

(どうします?)

剛田武

(アレ(阪神虎之介)だったら強行作戦も有り得る、だったらサインを出す。

さとし

(なる程…、よし！)

【ピシユー！】

桜井秀哉

（ヒットエンドラン！）

打ちにいくが…

桜井秀哉

（内角！？…クッソ…）

【バン！】

小寺主審

「ストライク」

コデライク

セブンの独り言

「ゲエ！」

既にセブンの独り言さんは本塁間近、千歳涼介さんに関しては三塁にいる。

急いでセブンの独り言さんは戻るが

セブンの独り言

「アレ？」

三塁には千歳涼介さんがいる。

千歳涼介

「??？」

どうすればいいのかわからない状況だ。

セブンの独り言

「????？」

三塁に2人がいる状況だ。

阪神虎之介

「千歳さん戻れ!!」

咄嗟に阪神虎之介が叫ぶが

剛田武

「タッチ！」

石山墨審

「アウト」

千歳涼介

「え？」

セブンの独り言

「は？」

何が何だかわからず、つい三塁から足を離れた瞬間。

剛田武

「タッチ！」

石山塁審

「アウト！」

セブンの独り言

「え？どゆこと？」

石山塁審

「2人ともアウトだよ」

セブンの独り言

「そうなの？」

何が何だか分からず2人はベンチに戻る。

セブンの独り言

「え？どういうこと？」

阪神虎之介

「まあアレはドンマイ」

説明すると

・ランナーが2、3塁で打者が打った時、守備で挟まれた3塁ランナーが3塁に戻ったとします。

・しかし2塁ランナーが3塁にいたとします。

・この場合、先に3塁ベースを占有していた者（この場合だとセブ

ンの独り言さん）が優先となり、2塁ランナーはフライと同様、2塁に戻らないとアウト。（だから「千歳さん戻れ！！」と）

・だからさつきは1アウトですんだが、セブンの独り言さんが誤ってベースから離れてしまった場合、それは盗塁の時と同じになるからタッチすればアウト。

・ルール間違ってたらゴメン。ぶっちゃけ本当かは自信ない。

阪神虎之介

「プロでもよくある」

ピッキー

「まあ野球みたいにゴチャゴチャしているスポーツは無いわな」

実際、野球のルールは覚えるのが大変だ。

この小説では、分かる所なら書くつもりだ。

桜井秀哉

「うわゝ、無死2、3塁から二死ランナー無しですか」

剛田武

（へへへ…）

これによって気を楽しにしたさとしは

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

桜井秀哉さんを三振にするのであった。

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 5回表（後書き）

【5回表終了】

小説 01000 — 1

ジャイ 01100 — 2

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 5回裏

アナウンス

「5回裏、ジャイアンズの攻撃は、六番、セカンド、ノビスケ」

阪神虎之介

「ノビスケってさ」

i k k i

「え？」

阪神虎之介

「のび太の息子？」

i k k i

「じゃない？」

阪神虎之介

「で、のび太どこ？」

i k k i

「さあ」

ノビスケ

（俺もこの時代生まれてないんだよなあ〜）

セブンの独り言

（内角にボールからストライクになるカーブ）



桜井秀哉

(はいよ)

【ピシユ!】

ノビスケ

「う!」

小寺主審

「ストライク」

コデライク

桜井秀哉さんはナツクルボーラである。

なので、独特のテンポで投げる。

【ピシユ!】

【ふわっ】

ノビスケ

(ナツクルだ!)

【パシ】

小寺主審

「ストライクツウ」

コデライク

ノビスケ

(最後はカーブか…、それともナツクルか…)

【ピシユ!】

ノビスケ

「!!!?」

【バァーン!】

小寺主審

「スットライクバッターアウト!」

コデライク

ノビスケ

「ストレートかよ」

アナウンス

「七番、センター、安雄」

安雄

「やっと出番だぜ!」

【ピシユ!】

安雄

「ヘーイ!」

【カキイン！】

【パシ】

【ビュ！】

【バシィ！】

西本墨審

「アウト！」

安雄

「……………」

アナウンス

「八番、レフト、はる夫」

キャッチャーフライ

はる夫

「脇役だからって出番消すなあ！！！」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】5回裏（後書き）

【5回裏終了】

小説 01000—1

ジャイ 01100—2

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】6回表

アナウンス

「6回表、小説ウイテングスの攻撃は、一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「何かこの試合嫌な流れだなあ」

さとし

「はあ〜」

剛田武

「初球はストレート」

さとし

（はい）

【ピシユ〜】

【コン】

さとし

「〜」

剛田武

「サード〜」

クロえもん

「わかってらいい〜」

【ドドドドドドドド】

クロえもんは素手でボールを掴むと一塁送球

【バシ】

西本塁審

「セーフ」

セーフティーバントで出塁。

阪神虎之介

「足早」

アナウンス

「二番、センター、双樹槿」

双樹槿

「続くぞ！」

さとし

(走りそつで怖い)

【ピシユ】

【カキイン！】

さとし

「あっ」

盗塁を恐れたボールを捕らえ、センター前ヒット

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉

「本塁打で逆転だ！」

剛田武がマウンドに向かう。

剛田武

「逆に盗塁の心配が無くていい」

さとし

「ですね」

紀葉

「ふう〜」

紀葉さんは気持ちを落ち着かせる。

剛田武

（初球はコレで）

さとし

（はい）

【ピシユ〜】

【ガギィ！】

打球は一塁スタンドへ

アナウンス

「打球の行方は十分お気をつけください」

紀葉

（重い…）

剛田武

（ここ一番のボールだ、それをもう一球）

【ピシュ！】

【ガギィ！】

さとし

（またファールか）

紀葉

「ふう」

剛田武

（速球にタイミングが合ってるから、チェンジアップお願いします）

さとし

（はい）

しかし



【ピシュ！】

剛田武

「ああ！」

ボールは遙か離れて左バッターの所へ

勿論剛田武が捕れる訳も無く

打者はそれぞれ進塁

剛田武

「落ち着け！」

さとし

(ヤバい…)

動揺したさとしは紀葉さんにボールを当ててしまふ。

紀葉

「いった！」

小寺主審

「デットボール！」

紀葉

「ハイ！」

ちよっ

「すみません」

帽子を下げて謝るさとし。

紀葉

「大丈夫です」

それに応える紀葉さん

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

「ウアアアアアアアアア！」

スタンドの熱気が高まる。

内野陣が集まり、剛田武だけ審判の所へ行き

剛田武

「ピッチャー交代、さとしに変わって俺、キャッチャーはドラえもん」

アナウンス

「ジャイアンズ、ピッチャー交代をお知らせ致します。キャッチャーの剛田武がピッチャー、ピッチャーのさとしに代わりましてキャッチャードラえもん」

ドラえもん

「今日はボクドラえもんです」

剛田武

「挨拶はいいよ、知ってるし」

ドラえもん

「3人で終わらずぞ」

剛田武

「OK」

クロえもん

「1人でトリプルプレーって考えは無いのか」

阪神虎之介

「動いてきた」

i k k i

「こっちどうぞします?」

阪神虎之介

「ゼロさんに任せるしかない……」

ウルトラマンゼロ

「デュワ」

剛田武

（行くぞ）

ドラえもん

（あいよ）

【ピシュ！】

【ガギイ！】

ピッキー

「いった！」

源静香

「当てただけだ！」

打球はライトへ

阪神虎之介

「ランナータッチアップ！」

ユーリ

「分かってる」

【バシイ】

出木杉

「バツクホオム！」

出木杉がホームに送球！

ドラえもん

「ノーカット！」

同時にユーリさんが突入！

【バシィ！】

ドラえもんが捕球する！

ピッキー

「回れえ！」

回り込むユーリさん！

飛びつくドラえもん！

【ズザザザザザ…】

小寺主審

「アウト！」

回り込み失敗で、回り込もうとした瞬間にタッチアウトされた。

しかしランナーはそれぞれ進塁。

しら

「やったるか」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

剛田武

(ふう)

そして…

【バシィ！】

小寺主審

「ボールフォア！フォアボール！」

剛田武

「畜生…」

一死満塁

ピッキー

「来たか…」

アナウンス

「六番、レフト、ピッキー」

阪神虎之介

「さすが魔の6回、そして任せました！」

ピッキー

「食らいついて同点にしてやる」

外野陣は長打を警戒している。

チャンステーマが鳴り止まない。

「打て！！打て！！打て！！打て！！打て！！打ってえ〜打てえ〜打ちまく

れ!!」

ドラえもん

「ジャイアン!山場だぞ!」

剛田武

「わかってあ!」

阪神虎之介はバットを持ってネクストバッターズサークルへ

セブンの独り言

「交代ですか」

阪神虎之介

「一応ね」

ピッキー

(決めてやる...)

剛田武第1球目

【ピシュ!】

ピッキー

(スライダー)

【カキイ】

西本塁審

「ファール」

「オオオ…」

どっちのスタンドからも溜め息と安堵の音が聞こえる。

剛田武

（二球目）

【ピシュ！】

ピッキー

（ボール…）

小寺主審

「ボール」

B

S

O

緊迫した空気になる。

ドラえもん

（ジャイアン、これ）

剛田武

（わかった）

【ピシュ！】



ピッキー

(ストレート)

【ガギイ!】

打球は三塁線を…

石山塁審

「ファール」

ドラえもん

(ヤバい…)

剛田武

(さすがピッキーさん)

ピッキー

(大変だよ)

ドラえもん

(これで2ストライク)

剛田武

(キメる?)

ドラえもん

(これでなあ)

剛田武

(わかった)

【ピシュ！】

ピッキー

(しまった！)

ボールは緩いカーブだが

【カキイ】

剛田武

「なに！？」

打球はフラフラと一塁を

源静香

「ギリギリだあ！」

ランナーは全員ホームへ

【ダン】

打球が着地…

判定は…

西本塁審

「フェア」

ピッキー

「よっしやああ！」

次々にランナーが帰ってくる。

ピッキーさんは二塁へ

阪神虎之介

「オレの出番が無くなった」

走者一掃の逆転タイムリー2ベース

小説 4-2 ジャイ

剛田武

「く……」

源静香

「ピッキーさんが上手だったよ、武さんくよくよしないで」

剛田武

「抑えきれなかった……」

ドラえもんが審判に投手交代を告げる。

ドラえもん

「ジャイアンに代わり、ひろし」

アナウンス

「ジャイアンズ、ピッチャーの交代を致します、剛田武に代わりま

してひろし」

ひろし

「やっと登板だ」

ドラえもん

「抑えるぞ」

阪神虎之介

「じゃセブンさんお願いします」

セブンの独り言

「はい」

もしもフォアボールとかで同点にしか出来なかった場合に備え、準備していた阪神虎之介だったが、逆転したためお役ゴメンとなった。

セブンの独り言

「逆転の後は気が楽々」

サードゴロに倒れた。

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】6回表(後書き)

【6回表終了】

小説	0	1	0	0	0	3	—	4
ジャイ	0	1	1	0	0	—	—	2

【小説】

桜井秀哉ノセブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし・剛田武・ひろしノ剛田武・ドラえもん

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】6回裏

【ダダン!】「ピッキー!」【ダダン!】「ピッキー!」【ダダン!  
!】「ピッキー!」

逆転タイムリー2ベースを放ったピッキーさんに殊勲のコールが聞  
こえる。

ピッキー

「どうも!」

阪神虎之介

「何かさ…、このまま勝てそうじゃない?あちらさんよく見たらま  
だ2安打じゃん」

i k k i

「そういえば」

桜井秀哉

「1点ビハインドから2点リードか」

セブンの独り言

「完投やりましょう!」

桜井秀哉

「そうですね」

アナウンス

「6回裏、ジャイアンズの攻撃は、9番、キャッチャー、ドラえも

ん

【カキイン！】

桜井秀哉

「え？」

セブンの独り言

「うわぁ…」

再びバックスクリーン直撃

「ウワアアアア！」

セブンの独り言

「何だよコイツら」

小説 4-3 ジャイ

さらに

【2ゴ】

【右安】

【左安】

一死1、2塁

アナウンス

「三番、サード、クロえもん」

マウンド上にみんな集まる。

ベンチでは

阪神虎之介

「双樹槇さんかな？」

i k k i

「オレでもいいですよ」

阪神虎之介

「i k k iさんは次の試合の先発ですから」

i k k i

「そうですけど」

阪神虎之介

「よし！」

阪神虎之介さんはベンチを出ると

阪神虎之介

「ピッチャーの桜井秀哉さんに代わり、双樹槇さんで空いたセンターにライトの千歳涼介さんが入ってライトにジョー・ギブケンさん」

小寺主審

「わかりました」



桜井秀哉

「降板だ」

セブンの独り言

「ik kiさんか、監督か、双樹槇さんか」

アナウンス

「小説ウイテングス、守備交代をお知らせします、ピッチャー桜井秀哉に代わりまして双樹槇、ライトの千歳涼介がセンターにライトにはジョー・ギブケンが入ります」

剛田武

「変えてきた」

双樹槇

「それでは今日も」

セブンの独り言

「はい」

小寺主審

「プレイ！」

セブンの独り言

(勿論)

双樹槇

(はい)

投球と同時に立ち上がるセブンの独り言さん

敬遠である。

「ブー！ブー！」

レフトスタンドからブーイングの嵐だ。

小寺主審

「ボールフォア！フォアボール！」

双樹槿

「だって次は」

アナウンス

「四番、ピッチャー、ひろし」

双樹槿

「だもん」

完全にナメきつた双樹槿さんはひろしを

【ガコ…】

双樹槿

「オーライ」

ピッチャーから

【バス】

ウルトラマンゼロ

「ヘーイ」

栄村塁審

「アウト」

二塁に入ったショートに投げて

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

ショートから

【パシ】

しら

「ヘーイ！」

西本塁審

「アウト！」

1-6-3のダブルプレー！

ひろし

「くっさ〜」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】6回裏(後書き)

【6回裏終了】

小説 010 003 — 4

ジャイ 011 001 — 3

【小説】

桜井秀哉 - 双樹樞 / セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし - 剛田武 - ひろし / 剛田武 - ドラえもん

【小説本墨打】

しら1号?

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号?

さとし1号?

ドラえもん1号?

【ジャイアンズ対小説ウィテングス】ほっとひと息（前書き）

試合ではありません。

応援団について軽く…

## 「ジャイアンズ対小説ウイテングス」ほっとひと息

- ・中日ドラゴンズ竜心会
- ・阪神タイガース私設応援団（関東若虎会）
- ・中虎連合会（東京猛虎会、東京岡田会）
- ・MVP（千葉ロッテ）

福岡ソフトバンクホークスと広島東洋カープと東京ヤクルトスワローズの応援団はガチ試合（プロ野球公式戦）の為欠席

まあ実際有り得ない組み合わせの為、「いたとしたら」で考えてください。

ぶっちゃけ中虎みたいに解散、活動休止している応援団も書きましたので

この小説はスタンドの事や応援の事も書こうとしているのでよろしくお願いします。

ちょっと疲れたから書きました。

【ジャイアンズ対小説ウィテングス】ほっとひと息（後書き）

次回から試合に戻ります。

## 【ジャイアンズ対小説ウイテングス】7回表

アナウンス

「7回表、小説ウイテングスラッキー7の攻撃です」

阪神虎之介

「ひろし君のデータを見た所、彼は速球150ですが、変化球はフオークしか無い始末です」

双樹槿

「それで？」

阪神虎之介

「あつちの投手はひろしの他には雑魚です」

ピッキー

「シロえもんとかいないの？」

阪神虎之介

「シロえもんはスタンドにいるのを5回に発見しました」

i k k i

「5回につて…」

紀葉

「じゃあドラベースからはクロえもんとひろしだけですか？」

阪神虎之介

「はい」



千歳涼介

「それじゃあ行きますか」

アナウンス

「7回表、小説ウイテングスの攻撃は、八番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

（ストレートとフォークしか無いならどっちかに絞れる）

【ピシュ！】

【バァン！】

小寺主審

「ストライク！」

コデライク

千歳涼介

（今のはストレートだったな）

ドラえもん

（次は）

【ピシュ！】

千歳涼介

（またストレート？）

【バァン！】

小寺主審

「ストライクツウ」

続いてのボールはキャッチャー手前でバウンドするボールだった。

千歳涼介

（未来では小学生が150kmも投げるのか）

ひろし

（凄いなあ、写真で見た西武ドームのまんまだ…）

ドラえもん

（キメ球で勝負！）

【ピシュ！】

千歳涼介

（フオーク！）

【カキイ！】

高々と打ち上げた。

ノビスケ

「オーライ」

【パシ】

栄村墨審

「アウト」

アナウンス

「9番、ライト、ジョー・ギブケン」

ジョー・ギブケン

「あのフォーク落ちるなあ」

ドラえもん

「そうでしょ」

ジョー・ギブケン

「人の話勝手に聞くなよ……」

ドラえもん

（そのフォークの性能を見せてやるーぜ）

ひろし

（ああ）

【ピシュ！】

【ダス！】

ジョー・ギブケン

（え？）

最初はストレートの軌道だったのにいきなり「ストーン」と落ちる

感じに落ちた。

ジヨー・ギブケン

「何だよこのフオーク」

阪神虎之介

「アレどんくらい落ちた？」

ピッキー

「さあ？」

ジヨー・ギブケン

(2種類しか無いって…、これじゃ)

【ピシュ！】

【バアン！】

ジヨー・ギブケン

(何打って言えばいいの?)

書き忘れたけどこの前のボールはボールね

小寺主審

「ストライク」

コデライク

B

S

0

ジヨー・ギブケン

「じゃあない」

ジヨー・ギブケンさんはバントの体勢

ドラえもん

(そんなもんで)

【ピシュ!】

ドラえもん

(ひろしのフォークが打てるか!!)

【ガキイ】

ドラえもん

「え?...グハア...」

何とか当てた打球は後ろに逸れ、ドラえもんの顎に激突した。

ドラえもん

「痛ったあ...」

ジヨー・ギブケン

「ドンマイ(笑)」

ドラえもん

(威嚇しろ)

ひろし

(はい)

【ピシュ！】

インコースにストレート

ジヨー・ギブケン

「ウワァ！」

【バシィ！】

小寺主審

「デットボール！」

ドラえもん

「え？」

小寺主審

「ヒジに当たっている！」

ジヨー・ギブケン

「痛い……」

阪神虎之介

「スタッフ！」

スタッフ？

「はい」

ジョー・ギブケンさんはヒジを痛めたのヒジを押さえてか仰向けになつたまま起き上がらない

チームスタッフが駆けつけて様子を見る。

阪神虎之介

「大丈夫かなあ？」

ピッキー

「大事に至らなければいいけど」

「何晒しとんじゃひろし！」

「テメエ何の恨みがある！」

ライトスタンドからデットボールに対する野次が聞こえる。

ひろし

「く……」

ドラえもん

「気にするな、避けなかったのが悪い」

大事には至らなかつた。

アナウンス

「バッターは一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「あんにやる…」

睨みつけるユーリさん

ひろし

(ああ…睨んでるよ…ヤダなあ…)

ドラえもん

(よし、ここだ)

インコースを指示

ひろし

(マジかよ…さっきそこ当てただろ)

阪神虎之介

(ドラえもんはインコースを指示、まあそんなぐらいの根性が無いとな)

ドラえもん

(さあ！)

ひろし

(ヤ…ヤダ…)

ユーリ

(インコースに当てて見る…)

ひろし



(はぁ…)

ドラえもん

(ビビるな!)

ひろし

(もう知らん!)

【ピシュ!】

【カキイ】

三塁クロえもん真つ正面

クロえもん

「うおわつと」

石山墨審

「アウト!」

二死一塁

アナウンス

「二番、ピッチャー、双樹榎」

双樹榎

(当てたら殺す…)

ひろし

(コイツもか…)

何とか外角に避けてショートゴロでチェンジ

阪神虎之介

「後で報復します？」

i k k i

「当てるの？」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】7回表（後書き）

【7回表終了】

小説 0100030—4

ジャイ 011001—3

【ジャイアンズ対小説ウィテングス】7回裏

アナウンス

「7回裏、ジャイアンズ、ラッキー7の攻撃です」

剛田武

「この回逆転するぞ！」

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、源静香」

源静香

「行くぞオラア！」

セブンの独り言

（相変わらず口が悪い…）

双樹槿

（オテンバ…）

セブンの独り言

（インコースにスライダー）

双樹槿

（はいよ）

【ピシユ！】

源静香

「キャ！」

【バァン！】

小寺主審

「ストライク！」

コデライク

源静香

「やっってくれるじゃないの…」

O S B

双樹榎

（次は…）

セブンの独り言

（落とせ）

双樹榎

（わかった）

【ピシュ！】

【カキィ】

叩きつけるようなバッティングは三塁へ

源静香

「あぁん！コン畜生！」

紀葉

「はっい」

打球を素手で捕り、一塁送球

【バシイ！】

【ズン！】

西本塁審

「アウト！」

しら

「ギヤア！」

いきなりしらさんが倒れた。

阪神虎之介

「！！！！！」

ユーリ

「どうしました？」

セカンドが駆け寄る

しら

「足を…」

ウルトラマンゼロ

「俺は見てたぞ！こいつ足踏みやがった！」

ウルトラマンゼロさんは源静香を指差した。

源静香

「んだよ悪いのか？」

その時

【ドーン！】

全員

「！！！？」

セブンの独り言さんが源静香に体当たり

セブンの独り言

「このアマ調子こくなー！！」

紀葉

「や、辞める！」

阪神虎之介

「アレはマズい……」

阪神虎之介もベンチから飛び出す。

ドラえもん

「しずかちゃんを助ける！」

両軍入り乱れる。

小寺主審

「止めんか!!」

セブンの独り言さんの怒りは収まらず、既に源静香はポコポコにやれている。

ピッキー

「離せ! 離せ!」

紀葉

「おい! 落ち着け!」

阪神虎之介

「セブンさん辞めろ!」

結果…

西本墨審

「暴力行為によりセブンの独り言退場!」

セブンの独り言

「何だって受けてやる!」



ドラえもん

「しずかちゃん大丈夫？」

源静香

「え…ええ…」

しかし口と鼻から流血している。

選手の交代を告げる。

阪神虎之介

「キャッチャー、ピッキーさんで空いた外野には鷹峯瑛さんで一応しらがさんが足の痛みを訴えている為ファースト、上原大人さん」

小寺主審

「わかりました」

アナウンス

「……以上に変わります」

阪神虎之介

「嫌な空気だ」

ik ki

「ピリピリしてる」

アナウンス

「バッターは六番、ノビスケ」

ノビスケ  
「畜生」

ピッキー  
「荒れるねえ」

双樹槿  
（セブンさんが切れるとは…）

ピッキー  
（内角に直球）

【ピッシュ！】

ノビスケ  
「こんにやる！」

【カギイ】

ボールはセカンドを…

ユーリ  
「抜けたあ！」

センター前ヒット

阪神虎之介  
（ドラえもんに回すな…）

アナウンス

「七番、センター、安雄」

安雄

「しずかちゃんの敵はとってやる……」

ピツキー

(1回ボールになるフォーク)

双樹櫃

(はい)

【ピシュ!】

【カキイ】

紀葉

「バツクバツク……」

三墨紀葉の頭上を

【バシ】

石山墨審

「アウト!」

安雄

「なに!」

紀葉

「ファースト!」

【ピシュ！】

【バン！】

上原大人

「アウト！」

西本塁審

「アウト」

「オオオオオオオ！」

【ダダン！】「のーりーは！」【ダダン！】「のーりーは！」【ダダン！】「のーりーは！」

紀葉さんはファウルゾーンギリギリでダイビングキャッチをした後、振り向いて1塁ランナーが既に2塁を回ったのを見ると急いで1塁に送球したのだった。

千歳涼介

「ナイス」

ユーリ

「スーパープレーですよ」

紀葉

「まあな」



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】7回裏（後書き）

【7回裏終了】

小説 0100030—4

ジャイ 01100010—3

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】8回表

ドラえもん

「ひろしどうした？」

ひろし

「一墨ベンチが…」

紀葉

「やったる」

ピッキー

「しらの敵を討つ！」

ひろし

「殺気立っているんですけど」

ドラえもん

「気にするな」

アナウンス

「8回表、小説ウイテングスの攻撃は、三番、サード、紀葉」

紀葉

【メラメラメラメラ】

ひろし

「うっ…」

ドラえもん

( 気迫なんて気にするな )

ひろし

( ウン )

【ピシュ！】

【バァン！】

小寺主審

「ボール」

紀葉

「……………」

紀葉さんは黙ってバットを強く握る。

ひろし

「怖い……」

【ピシュ！】

【カキーン！】

ひろし

「ああ……」

打球はレフトスタンドのはるか左へ…

石山塁審



「ファウル」

ドラえもん

「危ない、危ない」

クロえもん

「ひろし！どうしたんだよ！」

ひろし

「ゴ、ゴメン」

クロえもん

「スタンドでみかちゃんが見てるんだぞ！」

ひろし

「そうだね……」

【ピシュ！】

【バァン！】

小寺主審

「ボールツウ」

紀葉

「……………」

ひろし

「はあ〜」

クロえもん

「ひろし…」

【ピシュ！】

【バァン！】

小寺主審

「ボールスリー」

ドラえもん

「タイム！」

ドラえもんがマウンドに駆け寄る。

ドラえもん

「ひろし、しっかりしろ」

ひろし

「ゴメン、何かバッターの気迫が凄いからな…」

ドラえもん

「そんなもん気にするな、ミットだけ見ろ」

ひろし

「わかった」

小寺主審

「プレイ！」

ひろし

(ミットだけミットだけ)

【ピシュー！】

【カキーン！】

【バシィー！】

石山墨審

「アウト！」

紀葉

「く…」

ひろし

「ナイスキャッチー！クロ！」

クロえもん

「任せろ！」

アナウンス

「四番、シヨート、ウルトラマンゼロ」

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

【ピシュー！】

【カキーン！】

【バシィィ！】

ひろし

「ヒィィ……」

小寺主審

「アウト！」

アナウンス

「五番、ファースト、上原大人」

上原大人

「しらの敵！」

【ピシュ！】

【カキィ】

【バシィィ！】

ノビスケ

「ヘーィィ！」

栄村墨審

「アウト！」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 8回表（後書き）

【8回表終了】

小説 01000300  
— 4

ジャイ 0110010  
— 3

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 8回裏

【ダダン】 「ふーたーき！」 【ダダン】 「ふーたーき！」 【ダダン】  
「ふーたーき！」

マウンドに上がる双樹樞さんにコールが送られる。

ピッキー

「あと2回です」

双樹樞

「はい」

ピッキー

「抑えましょう！」

双樹樞

「はい！」

アナウンス

「8回裏、ジャイアンズの攻撃は、八番、レフト、はる夫」

はる夫

「同点…同点にするぞ！」

双樹樞

（やってみるや）

【ピシユー！】

ボールは低めへ

【バシィ！】

小寺主審

「ボール！」

双樹榎

（少し下に行ったな…）

ピッキー

（次は入れてください）

双樹榎

（はい）

【ピシュ！】

はる夫

「うおおお！」

【カキィ】

当てただけ

双樹榎

「OK、OK」

一塁送球

【バシイ】

西本墨審

「アウト」

はる夫

「畜生…」

ピッキー

(さて…)

アナウンス

「9番、キャッチャー、ドラえもん」

ピッキー

(これだよ)

「ドラえもん〜!」

双樹榎

(一発屋だ…)

ドラえもん

(しずかちゃん…)

双樹榎

(こつちも重要な戦力を二人失っているんでね)

ピッキー



(インコースに投げる)

【ピシュ!】

【カキーン!】

双樹槿

「なに？」

ピッキー

「若干ボール気味だったのに打った!？」

打球は左中間の

【ダス!】

千歳涼介

「間に合わない!」

ど真ん中に落下!

ドラえもん

「よっしゃあ!」

2ベースヒット

双樹槿

「っち、初球を打たれたか…」

アナウンス

「一番、シヨート、スネ夫」

阪神虎之介がマウンドに向かう。

阪神虎之介

「『魔の6回』と共に『魔の8回』と呼ばれる8回だ、これで試合の流れが決まる」

双樹榎

「はい」

阪神虎之介

「今から肩作るから9回は任せろ」

双樹榎

「抑えます!」

そう言つて阪神虎之介はベンチに戻る。

阪神虎之介

「scarletさん、ブルペンキャッチャーお願いします」

scarlet

「はい」

双樹榎

「よし!」

一回ロージンを触って落ち着かせた後、スネ夫を見る。

スネ夫

(僕だって…)

スネ夫は左打者なので双樹槿さんも左で投げる。

双樹槿

(ホームは踏ません!)

【ピシユ!】

【バーン!】

ピッキー

「あ!」

ドラえもん

「よし!」

双樹槿

「しまった!」

投球はキャッチャーの前で高く跳ね、ドラえもんは3塁へ

「かつ飛ばせ、ドラえもん! ゴー! ゴー! レッツ! ゴー! ドラえもん!」

【パパー、パパー、パパパパ】

昔は清原和博のテーマだったチャンステーマが流れる。

右往左往に人が走る。(見りゃわかる)

双樹櫃

(どうする?)

ピッキー

(低め禁物、落ちるボール禁物、制限がかかるなあ)

双樹櫃

(アウトコースの直球?)

ピッキー

(そうだ、左だからレフトからじゃ浅ければタッチアップできない)

双樹櫃

(わかった)

【ピシュ!】

【カキィ】

打球はショート、ウルトラマンゼロの

ウルトラマンゼロ

「デュワー!」

グラブの中に…

【ダン!】

入らない！

千歳涼介

「バツクボールさすか！！」

千歳涼介さんが捕って矢のような返球。

しかしドラえもんは走ってなかった。

最後の最後まで打球を見極めた結果、本塁突入は無理と判断したのだ。

アナウンス

「二番、ライト、出木杉」

出木杉

「打つ！」

一死1、3塁

クロえもん

【ブウン！ブウン！】

ネクストバッタースサークルでクロえもんが素振りをしている。

双樹榎

（出木杉は抑えないと）

「かつ飛ばせ〜出木杉！ゴーゴーレッツゴー！出木杉！」

チャンステーマも最高潮だ！

ライトスタンドでは手を合わせている人もいる。

一塁ブルペンでは阪神虎之介が9回のリリーフの為、投球練習を始めてる。

ピッキー

(双樹槇さん頑張れ)

双樹槇

「ふう〜」

サインを確認して、投げる。

【バシィ！】

小寺主審

「ストライク！」

ピッキー

「ナイスボール」

【パシ】

双樹槇さんは再びロージーンに手を添える。

双樹槇

(よしー！)

サインを確認して、投げる！

出木杉

（アウトコース、シメタ！）

【ガキイ！】

ボールは後ろへ

小寺主審

「ファウルボール」

出木杉

「フォークだったか…」

ピッキー

（簡単には打たせないよ）

双樹槿

（桜ヶ丘戦と全然違うや）

ピッキー

（インコースに直球）

双樹槿

（わかった）

【ピシュ！】

ピッキー

「あ！」

出木杉

「モラッタア！」

【カキーン！】

双樹槿

「しまったあ！」

ボールは甘く入りど真ん中に

打球はグングン伸びて…

レフトスタンドへ…

「ワアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

双樹槿さんがマウンドで肩を落とす。

双樹槿

「ああ…」

出木杉

「やったあ！やったあ！」

逆転3ランホームラン

見事出木杉がホームイン！



そしてナインとハイタッチ

阪神虎之介が早くもブルペンから出てくる。

その阪神虎之介の代わりにikkisanさんが審判に交代を告げる。

双樹榎

「すみません」

阪神虎之介

「まだ試合は終わってませんよ」

紀葉

「そうですね！まだ8回ですよ！」

アナウンス

「小説ウイテングス、守備交代をお知らせします。ピッチャーの双樹榎がライト、ライトのジョー・ギブケンに代わりまして阪神虎之介、ピッチャー、阪神虎之介」

小説 4-6 ジャイ

アナウンス

「バッターは三番、サイド、クロえもん」

クロえもん

「2点じゃダメだ！」

阪神虎之介

(クロえもんか…)

阪神虎之介は藤川球児みたいに独特なテンポをとって投げた。

【バーン！】

小寺主審

「ストライク！」

コデライク

阪神虎之介

(まず初球はストライク…)

ピッキー

(次は変化球で)

【ピシュ！】

クロえもん

(カーブ！)

【ガギ！】

小寺主審

「ファウル」

阪神虎之介

(トドメはストレート！)

【ピシュ！】

【バーン！】

小寺主審

「ストライクバッターアウト！」

コデライク

クロえもん

「あそこでストレート……」

続くひろしも凡退した。

阪神虎之介

「逆転するぞ！」

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】 8回裏（後書き）

【8回裏終了】

小説 0 1 0 0 0 3 0 0 — 4

ジャイ 0 1 1 0 0 1 0 3 — 6

【小説】

桜井秀哉 - 双樹樞 - 阪神虎之介 / セブンの独り言 - ピツキー

【ジャイアンズ】

さとし - 剛田武 - ひろし / 剛田武 - ドラえもん

【小説本塁打】

しら1号？

【ジャイアンズ本塁打】

源静香 3号？

さとし 1号？

ドラえもん 1号？

出木杉 2号？

【ジャイアンズ対小説ウイテングス】9回表

阪神虎之介

「土壇場の逆転劇だ！ラストは逆転の逆転で締めるぞ！」

全員

「はい！」

アナウンス

「九回表、小説ウイテングスの攻撃は、六番、キャッチャー、ピツキー」

「ピツキーさん！」

「頼む！」

ピツキー

「塁に出る！」

ドラえもん

（させるか、初球ストレート）

ひろし

（はい）

【ピシュ！】

【バシン！】

小寺主審

「ストライク！」

コデライク

ピッキー

（さっきよりも威力がある…）

ドラえもん

（いいぞ…）

【ピシュ！】

【ガギイ】

小寺主審

「ファウルボール！」

ピッキー

（手前で伸びるなあ）

ドラえもん

（見せ球無し！一気に決めるぞ！）

ひろし

（おう！）

ピッキー

（見せ球はあるよな？）

【ピシュ！】

ピッキー

「なに！！」

【バシン！】

小寺主審

「ストライクバッターアウト！！」

コデライク

ピッキー

「あゝ、畜生！」

裏をかかれ思わずバットを叩き付ける。

アナウンス

「七番、レフト、鷹峯瑛」

鷹峯瑛

「塁に出るのが優先……」

しかし……

【カキン】

鷹峯瑛

「ああ……」

ピッチャーゴロ

これで2アウト

アナウンス

「八番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「俺で終わってたまるか…」

ドラえもん

「後1人！」

ジャイアンズサイン

「オー！」

レフトスタンドから「後1人コール」が始まった。

千歳涼介

（負けるか…）

そしてカウントは

O S B

阪神虎之介

「回せえ！」



ひろし

(これが…ラストだあ！)

【ピシュー！】

千歳涼介

(ストレート…)

千歳涼介さんが振りに行く！

【バシン！】

千歳涼介

(！！)

小寺主審

「ストライクバッターアウト！！ゲームセット！」

ひろし

「やったあ！」

ドラえもん

「2連勝だ！」

阪神虎之介

「あゝあ…」

千歳涼介

「……………」



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】9回表(後書き)

【試合終了】

小説 0 1 0 0 0 3 0 0 0 0 — 4

ジャイ 0 1 1 0 0 1 0 3 X — 6

【小説】

桜井秀哉 - 双樹槿 - 阪神虎之介 / セブンの独り言 - ピッキー

【ジャイアンズ】

さとし - 剛田武 - ひろし / 剛田武 - ドラえもん

【小説本塁打】

しら1号?

【ジャイアンズ本塁打】

源静香3号?

さとし1号?

ドラえもん1号?

出木杉2号?

【勝利投手】

ひろし(1勝)

【敗戦投手】

双樹槿(1敗)



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】試合終了後

アナウンサー

「放送席！放送席！本日のヒーローです！本日のヒーローは出木杉選手！見事逆転3ランホームランを放ちました！！」

双樹槿

「……………」

紀葉

「……………」

〽ロッカールーム

阪神虎之介

「ま、仕方ないです」

紀葉

「あの、しらはさんは？」

阪神虎之介

「軽い捻挫です次の試合には出れます」

紀葉

「よかった」

i k k i

「次は？」

阪神虎之介

「明治神宮球場での、学園都市ゴールデンガールズ戦です」

ピッキー

「今度は『とある』ですか…」

阪神虎之介

「現地集合ですのでお気をつけて」

全員

「はあ〜い」

阪神虎之介

「それと、次の試合から補強選手が来ます」

全員

「ええ!!!」

阪神虎之介

「今紹介しときますね〜」

そう言って阪神虎之介が手を叩くと

【ガラッ】

三人入ってきた。

scarlet

「え？」

ユリ

「うそ…」

阪神虎之介

「レンタル選手として前半戦活躍してくれる阪神タイガースから起こしのザラテ選手と次試合から参加の霧嶺劉斗選手、そして、熊谷政秀選手です」

全員

「オ」

千歳涼介

「質問です、『レンタル選手』って何ですか？」

阪神虎之介

「期限付きで所属する選手の事です」

千歳涼介

「なる程」

紀葉

「よくプロ選手連れてこられましたね」

阪神虎之介

「彼は育成選手なので」

ikki

「なる程」

阪神虎之介

「それでは皆さん、次回は勝つぞ!!!」

全員

「オオ!」



【ジャイアンズ対小説ウイテングス】試合終了後（後書き）

次回は各チームの新人団選手発表会

ザラテ選手…阪神タイガース背番号116

霧嶺劉斗選手…作者さん

熊谷政秀選手…単に補強

新人団選手発表会（前書き）

プロ野球ファンなら分かる「ネタキャラ」も…

## 新人団選手発表会

### 【小説ウイテングス】

#### 補強選手

- ・ザラテ（阪神から）
- ・霧嶺劉斗（新人団）
- ・熊谷政秀（補強）

#### 阪神虎之介

「小説ウイテングスはザラテ選手、霧嶺劉斗選手、熊谷政秀選手の入団を発表します」

### 【カシャカシャカシャカシャ】

記者？

「監督！ズバリ補強の点は何ですか？」

#### 阪神虎之介

「ウイテングスは現在、先発のikkiiさん、桜井秀哉さんと中継ぎは外野手兼任の双樹榎さんに抑えが私と投手不足なので阪神タイガースから『レンタル選手』という形で育成選手のザラテ選手を獲得しました」

記者？

「打線の方は？」

#### 阪神虎之介

「紀葉さん、ウルトラマンゼロさん、しらさんのクリーンアップに

ピッキーさんと非常に良い選手が揃っているので大丈夫です」

【桜ヶ丘ティータム】

補強選手

- ・高町なのは（リリカルなのは）
- ・グラマン（元中日）
- ・メンチ（元阪神）

山中さわ子

「桜ヶ丘ティータムは高町なのは選手、グラマン選手、メンチ選手の入団を発表します」

【学園都市ゴールデンガールズ】

補強選手

- ・高坂桐乃（俺妹）
- ・ヴィータ（なのは）

木山春生

「学園都市ゴールデンガールズは以上の選手の入団の合意を発表します」

【ジャイアンズ】

補強選手

- ・エーモンド（助っ人）
- ・パクえもん（助っ人）
- ・ゴンザレス（外人）

剛田武

「ジャイアンズはエーモンド外野手、パクえもん捕手、ゴンザレス投手の入団を発表します」

### 【マリオマリナーズ】

補強選手

- ・タフィローズ（元近鉄他）
- ・李スンヨプ（元オリックス他）

マリオ

「マリナーズはタフィローズさんをコーチ兼選手に李スンヨプ選手のレンタルが決まりました」

### 【インデックス】

補強選手

- パワポケ ・亀田
- パワポケ ・具田
- パワポケ ・落田

・李柄圭（元中日）

一方通行

「以上だ！」

### 【亀有ポリスマンズ】

・補強選手

無し

両津勘吉

「金が勿体無い！」

### 【ポケットモンスターズ】

補強選手

無し

オーキド

「大丈夫じゃ」

新人団選手発表会（後書き）

次回から「学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイテングス」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】試合開始前の前（前書き）

選手各自の視点ですが…



【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】試合開始前の前

（阪神虎之介 side）

明治神宮野球場までは選手各自が現地集合だ。

阪神虎之介は東京メトロ銀座線で外苑前を目指していた。

阪神虎之介

（1勝1敗か…）

目の前のスポーツ新聞には【逆転！逆転！また逆転！最後は出木杉3ラン！！】という見出しが載っている。

勿論あの試合の事だ

阪神虎之介

（失投が残念だ）

銀座線で外苑前に下車すると

????

「ねえここが近かって本当？」

????

「そうだって」

????

「本当？」

それぞれ紀葉さん、しらさん、ピッキーさんのサポートユニフォームを着た「個性豊かな」三人組がいた。

阪神虎之介

（今日の試合の観客か…）

阪神虎之介はそのまま外苑前から神宮球場へ向かった。

）紀葉 and しら side（

紀葉さんはしらさんは現在、神宮バッティングドームにいる。

【カキーン！】

【カキーン！】

【カキーン！】

【カキーン！】

紀葉

「しらさん足大丈夫ですか？」

しら

「もう平気です」

紀葉

「よかった」

しら

「でもセブンさんが退場処分の影響で今日の試合出られないと」

紀葉

「そつですか…」

（ikkianndピッキーside）

ikkisanは神宮の室内練習場を借りてピッキーさんと投球練習している。

【バシィ！】

ピッキー

「ナイスボール」

ikk i

「どうも」

ピッキー

「はあ、今日オレがマスクか…」

ikk i

「そういえばセブンさんは今日出場禁止でしたよね」

ピッキー

「そうなんだよな…」

【学園都市ゴールドエンガールズ対小説ウイテングス】試合開始前の前（後書き）

全員分は無理です。

すみません…

【学園都市ゴールドエンガールズ対小説ウィテングス】試合開始前（前書き）

今年も神宮へ…

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】試合開始前

（明治神宮野球場）

阪神虎之介

「今日もアウェイです」

ikkiki

「そうですか」

阪神虎之介

「今日はスタメンを変えました」

? 双樹槇（中）

? 鷹峯瑛（左）

? 紀葉（三）

? ピッキー（捕）

? しら（一）

? 千歳涼介（右）

? scarlet（遊）

? ユーリ（二）

? ikkiki（投）

紀葉

「あれ？ウルトラマンゼロさんは？」

阪神虎之介

「今日は代打の切り札です」

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

【カキーン！】

現在、小説ウイテングスが打撃練習中だ。

因みに学園都市ゴールデンガールズは前試合で桜ヶ丘ティータイムに3 - 7と敗れ0勝2敗だ。

御坂美琴

「1勝しているのはいいな」

阪神虎之介

「しらさんナイスバッティング！」

くー墨ベンチく

木山春生

「一応大事な事だから言うが能力の制限には気をつけて」

全員

「はあくい」

絹旗最愛

「まあ私みたいに既に無理な選手も超えるわけですが」

御坂美琴

「まあね」

く三墨ベンチく

阪神虎之介

「今日は勝ちましょうー！」

全員

「はい！」

くスタンドく

アミティ

「野球場に来るのは初めてだね」

あんどおりんく

「ウイテングスって強いって聞いたけど…」

アルル

「みんなのホットドック買ってきたよー1500円もしたけど」

二人



「  
たっ  
か！」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイテングス】試合開始前（後書き）

神宮球場のレフトスタンドに美味しいホットドック屋があります。

1つ500円とかだけど…

神宮球場のバックスクリーン下に「東京ラーメン」売ってます。

1つ600円だけど…

【学園都市ゴールドエンガールズ対小説ウィテングス】スタメン発表

「スタメン発表の時間」

阪神虎之介

「それじゃ」

木山春生

「ああ」

阪神虎之介がふと一塁を見ると

阪神虎之介

「なんでつば九郎が来てるねん（笑）」

つば九郎

（やあ） 喋れないのでボード使用

阪神虎之介

「ヤクルトのマスコットじゃないんかい（笑）」

つば九郎

（かわいいおんなのこたちのおうえんさ）

阪神虎之介

「セクハラしに来たんじゃないの（笑）」

つば九郎

（え？）

阪神虎之介

「お前よく妹のつばみとかにセクハラするやんけ、拳げ句の果てにはチアリーダまでやってるし」

つば九郎

(オレつばめだから)

阪神虎之介

「理由になってねえ！」

つば九郎

(まあきょうはがんばれよ、タイガースも)

阪神虎之介

「あのウィテングスですけど」

つば九郎

(しつれいしつれいww)

阪神虎之介

「笑ってんじゃないよ!！」

ピッキー

「何やってんだ？」

アナウンス

「大変長らくお待たせいたしました。学園都市ゴールデンガールズ

対小説ウィテングスのスターディングラインアップ及びアンパイアをお知らせします。先攻の小説ウィテングス、一番、センタア、双樹櫃

【ダダン！】「ふ、た、き！」【ダダン！】「ふ、た、き！」【ダダン！】「ふ、た、き！」

アナウンス

「二番、レフト、鷹峯瑛」

【ダダン！】「た、か、みね！」【ダダン！】「た、か、みね！」  
【ダダン！】「た、か、みね」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

【ダダン！】「のーりーは！」【ダダン！】「のーりーは！」【ダダン！】「のーりーは！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

「ええ？」

【ダダン！】「ピッキー！」【ダダン！】「ピッキー！」【ダダン！】「ピッキー！」

「何で？」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

【ダダン！】「しら！」【ダダン！】「しら！」【ダダン！】  
「しら！」

アナウンス

「六番、ライトオ、千歳涼介」

【ダダン！】「ち、と、せ！」【ダダン！】「ち、と、せ！」【ダ  
ダン！】「ち、と、せ！」

アナウンス

「七番、シヨート、scarlet」

【ダダンダン】「scarlet！」【ダダンダン】「scarl  
et！」【ダダンダン】「scarlet！」

アナウンス

「八番、セカンド、ユーリ」

【ダダン】「ユーリ！」【ダダン】「ユーリ！」【ダダン】「ユー  
リ！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikki」

【ダダンダン！】「ikki！」【ダダンダン！】「ikki！」  
【ダダンダン！】「ikki！」

「オ、ロツテ！」

パトリック・ユウ

「皆さんこんにちは！」

紀葉

「誰だあれ？」

パトリック・ユウ

「今日は神宮球場に来てくれてありがとう！今日は学園都市ゴールデンガールズの試合！それでは！いつものいつてみよー！」

しら

「いつもの？」

【パパパッパ】 「GO!GO!girls！」

【パパパッパ】 「GO!GO!girls！」

阪神虎之介

「ちゃんとガールズ仕様になってる…！」

パトリック・ユウ

「それでは！スターディングラインアップの発表だ！一番、センタアフィルダ、みさかあ！みこと！」

「かつ飛ばせ！御坂！」

パトリック・ユウ

「二番、セカンド、初春飾利！」

「かつ飛ばせ！初春！」

パトリック・ユウ

「三番、ピッチャー、さあてん！るいこー！」

「かつ飛ばせ！佐天！」

パトリック・ユウ

「四番、ファースト、麦野沈利」

「かつ飛ばせ！麦野！」

パトリック・ユウ

「五番、ライトオ、絹旗最愛」

「かつ飛ばせ！絹旗！」

パトリック・ユウ

「六番、レフトウ、白井黒子」

「かつ飛ばせ！白井！」

パトリック・ユウ

「七番、ショート、フренда・セイヴァン！」

「ゴーゴーレッツゴー！フренда！」

パトリック・ユウ

「八番、キャッチャー、個法美偉」



「かつ飛ばせ！個法！」

パトリック・ユウ

「九番、サード、高坂桐乃」

「かつ飛ばせ！高坂！」

【ピィピ、ピッピッピ】

「ファイトファイトヒーロー、君こそヒーロー、チャンスがガッツ  
だヤクルトスワローズ！」

アナウンス

「アンパイアは、主審西本、塁審、一塁佐々木、二塁、丹波、三塁  
小林、公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【学園都市ゴールドエンガールズ対小説ウィテングス】スタメン発表（後書き）

本当は「一番、センター、御坂美琴」の後に応援歌があるけど全員分考えるのが無理なので省略

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイテングス】 1回表（前書き）

イグツチヨさんがチームに入りました。

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイテングス】1回表

アナウンス

「1回表、小説ウイテングスの攻撃は、一番、センター、双樹槿」

個法美偉

（佐天さん、初球はスライダー）

佐天涙子

（はい）

【ピシュ】

双樹槿

（スライダー…）

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

双樹槿

（初球入れてきたな…）

個法美偉

（次は外すよ）

佐天涙子

（はい）

【バシイ！】

西本主審

「ボール」

双樹槇

（次は高めか…）

個法美偉

（次は外角に入れてください）

佐天涙子

（はい）

【ピシユ】

個法美偉

「あ！？」

【バシイ！】

西本主審

「ボールツウ」

個法美偉

（楽にして楽に）

佐天涙子

（はい）

個法美偉

(次は入れてね)

佐天涙子

(はい)

【ピシユ】

【カキイン！】

高坂桐乃

「あ…」

フレンダ

「ありゃ」

三遊間抜けるレフト前ヒット

アナウンス

「二番、レフトウ、鷹峯瑛」

鷹峯瑛

(ワザとバントの態勢)

個法美偉

(バントだ…高めに)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

個法美偉

（来た！）

個法美偉が少し前に出る。

その時

【スウ…】

個法美偉

「な！？」

【ガスっ！】

バントの姿勢からいきなりヒッティングの姿勢になった鷹峯瑛さんのバットに個法美偉のマスクが激突！

個法美偉

「痛い…」

西本主審

「インターフェア！バッター1塁！」

阪神虎之介

「打撃妨害か…」

個法美偉

「はあ〜」

鷹峯瑛

（してやったり〜）

紀葉

「鷹峯瑛さんよくそんな事できたなあ」

紀葉さんはそう言っつて鷹峯瑛さんの持っつてたバットを見ると

紀葉

「なっが！」

1メートルはある

紀葉

「これだっつたらキャッチャーと当たるよな…」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

紀葉

「今日は打つか〜」

個法美偉

（3番打者は4番打者に繋げるために打つ存在）

佐天涙子

（はい）



【ピシュ】

紀葉

（外角の直球、ボールだ）

【バシィ！】

西本主審

「ボール」

佐天涙子

（今のボール？）

紀葉

（際どかったな…）

個法美偉

（さっきでもう一回外角来ると思っはず）

紀葉

（外角来るか…）

個法美偉

（内角へ…）

【ピシュ！】

紀葉

（何だよ…）

【カキーン！】

紀葉

（そのまんま裏かいただけじゃないか…）

打球はレフト方向へ

白井黒子

（能力は使用禁止ですから無理ですの）

打球はレフトフェンス直撃

紀葉

（まずは2塁…）

既に2塁ランナーはホームベースを踏んだ。

紀葉

（鷹峯さんは？）

2塁に到着した紀葉さんは鷹峯瑛さんを探す。

鷹峯瑛

「イエイー！！」

紀葉

「いた」

小説ウィテングス2点先制

個法美偉

「ドンマイ、ドンマイ〜締まって行くよ〜」

佐天涙子

「はい」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

ピッキー

「この小説で始めて四番打者か…」

阪神虎之介

「頼んまつせ」

佐天涙子

（なんとか2点に抑えたい…）

個法美偉

（じゃあここしかない）

インコースの腰に来るボール

ピッキー

（何だよ…）

【カキイン！】

高坂桐乃

「ワァ！」

三塁線を突き破る。

白井黒子

「またですよ…！」

白井黒子が捕球した時、既に紀葉さんは三塁を蹴ってホームに向かって走っていった。

個法美偉

「カット！カット！」

ショートの前でボールは止まった。

小説ウィテングス3点目。

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「よしてきた！」

佐天涙子

「く…！」

個法美偉

「だからって言ってかんじゃダメよ」

佐天涙子

「はい」

佐天涙子にその声をかけた個法美偉は元に戻る。

西本主審

「プレイ！」

個法美偉

(しらはさんは強打者だから一球外して)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ！】

【バシィ】

西本主審

「ボール」

しら

(外すのか)

個法美偉

(二球目は…外にいったい)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ！】

しら

(ボール…)

【バシイ】

西本主審

「ボールツウ！」

個法美偉

(外れてるの…)

しら

(明らかにコントロール悪いな…)

個法美偉

(それじゃ、0-3にするのはマズいから入れて)

佐天涙子

(はい)

【ピシュー！】

しら

(今度は入れてきたか…)

【バシイ！】

西本主審

「ストライク！」

O S B

しら

(次はどこくる…)

個法美偉

(真ん中高めに変化球)

佐天涙子

(はい)

【ピシユ】

しら

(高めに…)

【ガギイ】

西本主審

「ファールボール」

しら

(平行カウント…)

個法美偉

(今度は低めよ)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

【カキイン】

打球は一塁に…

麦野沈利

「そりゃ！」

ファースト麦野が一塁を踏まずに二塁へ送球

フレンジ

「はあい」

フレンジが二塁を踏みながらジャンピンググスロー

丹波塁審

「アウト」

麦野が送球をキャッチ

【バシイ】

佐々木塁審

「アウト」

しら



「ああ」

阪神虎之介

「ゲツツーか」

続く千歳涼介さんも倒れた。

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイテングス】 1回表（後書き）

【1回表終了】

小説 3 — 3

学園 — 0

【小説】

ikki / ピッキー

【学園都市】

佐天涙子 / 個法美偉

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6439z/>

---

熱血！アニメゲームリーグ戦

2012年1月6日01時52分発行